

少女讚・陽・保・国・麦・阿)

06 65 01 としかはりてとしかはり讚年もかへりぬれ
は国

06 65 01 御はても御はて保

06 65 01 すきぬれはすき国

06 65 01 世中よのなかの讚保麦阿

06 65 01 いるナシ陽

06 65 01 あらたまりてあらたまれる国

06 65 01 ころもかへころもかへなと陽

06 65 02 などもなとは讚も陽麦は国ナシ阿

06 65 02 いまめかしきをいまめかはしきを国

06 65 02 ましてナシ国まいて麦阿

06 65 02 ころほと讚

06 65 02 おほかたのナシ麦阿

06 65 02 空のけしきそらのけしきも讚保世のそらも
国

06 65 03 前さい院せんさい院陽さきの齋院保前
齋院国

06 65 03 つれ／＼とつれ／＼に讚国つれ／＼にて陽
保

06 65 03 をまへ御前讚御まへ陽

06 65 03 かつらのかつらの木の讚陽保国

06 65 03 したかせをひかせ陽

06 65 03 なつかしきにつけてナシ国

06 65 04 わかき人／＼は人／＼陽

06 65 04 こともあるに事おほかるに国

06 65 04 大殿よりみそきの日はみそきのひ大殿より
讚保おほるとのより陽大殿より国

06 65 04 いかにかにつれ／＼国

06 65 05 のとやかにのとかに国

06 65 05 おほざるらむとおほざるらんなど讚おほす
らんとみそきの田国

06 65 05 きこえさせきこえ讚ナシ国

06 65 05 けふはこそその今日は讚保ナシ国

06 65 06 かけきやはかつ(け)きやは(け)国

06 65 06 かはせのなみもかわせのなみの麦阿

06 65 06 たちかへりたちかはり讚保麦阿

06 65 07 かみかみの讚保国かみに陽麦阿

06 65 07 ふちの花につけふちのえならぬにつけて
陽藤花につけ保麦阿

06 65 07 おりのおはれなればナシ国

06 65 07 御返御かへり讚御返事保国

06 65 08 ありナシ国

06 65 09 きしはきのふときしは昨日のと保

06 65 09 けふはみそきのけふのみそきの阿

06 65 09 せにかはる世をせにかはるよをと国

06 65 10 はかりナシ讚

06 65 10 御めとめ給て御めとめて讚保御めと
め給て陽麦阿御心とまるくせにてあはれと
国

06 65 10 ほとなにもめとなにも讚事なんと
国

06 65 11 おほしやれるおほしよる讚おほしよれるを
国

06 65 11 こともあるをこともあるを保ナシ
国

06 65 11 院は(院)は(院)国

06 65 11 みくるしきくるしき阿

06 65 11 ことに事そ讚

06 65 12 をかしやかにおかしきやうに国

06 65 12 御ふみ御せうそこ讚陽保御せうそく
保

06 65 12 などのにて国などに麦阿

06 65 12 あらはあらは麦ナシ阿

06 65 12 こそこそは保

06 65 12 とかくもともかくも国

06 65 12 きこえかへさめきこえさせめ讚

06 65 13 としころもいとすらをしうしないたされは
「さ八ま力」国

06 65 13 おはやけさまのおほやけかたさまに讚おほ
やけさまに陽保おほやけおほやけ陽お
ほやけさまにてとしころ国おほやるさまの
麦

06 65 13 あり／＼の御とふらひなとはナシ国

06 65 13 あり／＼のをり／＼讚

06 65 13 御とふらひなとはきこえならはし給ていとナ
シ麦阿

06 65 13 御とふらひおほんとふらひ讚

06 65 13 などはなと讚

06 65 13 ならばしならし讚陽保ならひ国

06 65 14 給て給しをなしまにすく／＼しうしなし
給て讚保給したまひてし保したまうて陽給
へるさまに国

06 65 14 いとナシ国

06 65 14 まめやかなれはいかまめやかなれは
いか(麦)阿

06 65 14 きこえもまきらかすへからむきこえまきらは
 すへからん讚陽保きこへかへすならん国聞
 えもまきらはすへからん麦阿
 06 66 01 へしナシ国
 06 66 01 女五宮女五の宮讚女御国
 06 66 01 かやうにかくやうの国
 06 66 01 おりをりノに讚
 06 66 01 すくさすすこさす讚保
 06 66 01 きこえとふらひきこへ国
 06 66 01 いといとく国
 06 66 02 かくナシ讚国
 06 66 02 おとなひておとなしう思国
 06 66 02 とふらひこえ陽
 06 66 02 こと事ことし国事と麦阿
 06 66 03 いとちと讚保麦阿ナシ国
 06 66 03 きよらなるに心きよらなるに讚けらう
 らなるに陽けらうにおはするに国きよら
 に麦阿
 06 66 03 そへてあらて国
 06 66 03 こそこそは阿
 06 66 03 人には人に国
 06 66 03 おひいておもひいて保ものし国おひ
 阿
 06 66 03 給へれとたまへれはと陽給へと国
 06 66 03 ほめほの阿
 06 66 04 わらひきこゆわらふ国
 06 66 04 こなたにもこなたに人讚こなたの家にも
 国
 06 66 04 たいめんたいめ麦阿

06 66 05 かくかは麦
 06 66 05 いとナシ国
 06 66 05 きこえとふらひきこへ国
 06 66 05 なにかなにかは讚陽保国
 06 66 05 いまはしめたる御心さしにもいましめきこ
 へ給事とも国
 06 66 05 はしめたるはしめたる保
 06 66 06 なり給てて国
 06 66 06 えみたてまつり給はぬなけきをし給てはえ
 みたてまつらぬをなけきにしたまひては保見
 たてやすくみをきたてまつらり給はぬ事をな
 けては国
 06 66 06 給はぬたまはぬ陽
 06 66 06 おもひたちし思ひたまうし陽
 06 66 07 ことを事も国
 06 66 07 給しことなと給てなんと国給しなと
 阿
 06 66 07 の給ひいてつゝの給ひいてつゝ陽の思い
 てつゝ保の給て国麦阿
 06 66 07 くやしけにこそくやしけにそ陽くやしきこ
 とにこそ保くやしきこと国
 06 66 08 おほしたりしおもほしたりし麦阿
 06 66 08 おりノありしかされとを国
 06 66 08 こ大殿この大殿讚国こおほい殿陽
 06 66 09 三宮の三宮陽三の宮の保宮の国
 06 66 09 思ひ給はむおほさん国思はん阿
 06 66 09 ことのところの讚保
 06 66 09 いとをしきにいとおしきに阿
 06 66 09 とかくなにかと国

06 66 09 そへよせ陽そひ国
 06 66 09 なかりしなりいまはそのなかりしを国
 06 66 10 いまはいまそ讚
 06 66 10 えさらぬすちにてさて国
 06 66 10 人さへなくなれにしかは人さてなくなり
 にしかは讚人もなくなり給にしかは国
 06 66 11 けになどてかはけになどかは讚保けふまで
 も国
 06 66 11 さやうにてさやうにてものせられし人さて
 なくなりにはかはけになどかはさやうにて
 讚さやうにて陽ナシ国
 06 66 11 おはせましもおはせましも二本傍記前
 項ノ衍文ヘノモノ力讚おはせましをと国お
 はしまさんも麦阿
 06 66 11 あしかるましとあしうとましと讚あしから
 ましと陽あしからしとこそ保ナシ国
 06 66 11 うちナシ保麦
 06 66 11 侍にも侍に讚給へるに保侍つるを国
 06 66 12 さらかへりてさらはかへりて讚さてかへり
 て陽ナシ国
 06 66 12 かくかくさし返国
 06 66 12 きこえ物し国
 06 66 12 給も給めるは讚保給めれば国
 06 66 12 さるへきにもあらんなむ思ひ侍なとさる
 へきにやと国
 06 66 12 あらんとあらんなと麦阿
 06 66 12 思ひみ讚陽保
 06 66 12 侍なといとこたいに侍はとこたひに讚
 06 66 13 こたいにこた 陽

06 66 13 給を給へは国
 06 66 13 おほしておもほして麦阿
 06 66 13 こ宮(こみや)に保 故宮なんと国
 06 66 13 しかナシ国
 06 66 13 ものに物と讚
 06 66 14 おもはれおほえ讚陽保 おほえられ国
 06 66 14 たてまつりてたてまつりしを讚
 06 66 14 すき侍にしをナシ讚国 すき侍しを保麦
 阿
 06 66 14 またナシ保国麦阿
 06 66 14 なひきはへらんもなひざわくらはん本ト
 傍記讚
 06 67 01 つぎなきにんけなき国
 06 67 01 なむとなん讚なんと陽保とはかり
 国
 06 67 01 きこえ給てみきこえたまひて讚きこえて
 国
 06 67 01 はつかしけなるいとつかしけなる陽
 国
 06 67 01 御けしき 御さま国
 06 67 01 しめてもいとし給も国
 06 67 01 えきこええ陽 ナシ国 聞え麦阿
 06 67 02 宮人もみやの人も保 ナシ国
 06 67 02 かみしもみなみな上下讚麦阿 こなたかなた
 にみな国
 06 67 02 心かけ心をよせ讚保 こころよせ陽国
 06 67 02 きこえたればきこえ給たれば讚きこえされ
 は阿
 06 67 02 いとナシ讚保国

06 67 02 うしろめたくうしろめたなく陽保 うしろめ
 たなづ保
 06 67 03 のみナシ国
 06 67 03 おほさるれとおほさるされと保 おほされと
 国
 06 67 03 かの御身つからはかの御みやつかえは讚ナ
 シ国
 06 67 03 あはれをあはれと讚
 06 67 03 みえきこえて見せたてまつりて国
 06 67 04 御けしきのうちもゆるはむ御けしきのそら
 もゆたはん讚御けしきのうちもはこぬゆる
 さん(陽 御けしきのうちもゆるさん保 御心
 のうちゆるはん国
 06 67 04 ほとをこそをとこそ陽 ほとをとこそと
 力保ほとをこそは国
 06 67 04 まちわたり まちかたり讚
 06 67 04 給へたまゑへ(讚 給陽
 06 67 04 さやうにさやうにも陽 ナシ国
 06 67 04 あなちなるさまにあなちち国
 06 67 05 御心おほむこころ讚
 阿
 06 67 05 などはたと陽 はた国
 06 67 05 おほさるへし おほさるへし讚陽 おほされ
 す国
 06 67 05 大殿はらのおほいとのはこの陽 おほと
 国
 06 67 05 わか君のわかきみを(の)保 わか君をの
 麦

06 67 05 御けんふく御けふく国
 06 67 06 こと事を保麦阿
 06 67 06 おほしいそくをナシ国 おもほしいそくを麦
 阿
 06 67 06 二条の院にてと二条院にてと保国 二条院に
 てもとを麦 二条院にてもと阿
 06 67 06 おほせとおほせとも讚おもほせと麦
 阿
 06 67 06 大宮の大宮讚
 06 67 06 いとナシ国
 06 67 06 ゆかしけにゆかしう讚保 心くるしう
 国
 06 67 06 おほしたるもことほりに心くるしければなを
 やかてかの殿にてせさせたてまつり おほし
 たればなをひのにてし国
 06 67 07 殿おほ殿讚保 おほいと陽
 06 67 07 たてまつり たてまつらせ陽
 06 67 07 右大将 左大将 陽 大将国
 06 67 08 きこえてたてまつりて讚国
 06 67 08 御をち御はらから国
 06 67 08 殿はらとのはらの讚 きんたちおもよとや
 むことなくおほえ事に物し給国
 06 67 08 かむたちめのやむことなき御おほえことに
 てのみものし給へは かんたちめおの
 国
 06 67 08 御おほえことにて御おほえなるにて讚陽保
 「御おほえおほんおほえ保」
 06 67 09 のみの 陽
 06 67 09 ものし給へはものしたまへ(へ)は讚

06 67-09 あるしかたにもあるしかたにて阿
 06 67-09 我もノとわりなく国
 06 67-09 ことゝもは事とも讚陽事とんを国事とも
 い麦
 06 67-09 とりノにナシ国麦阿
 06 67-10 つかうまつり給したまふ讚国
 06 67-10 おほかたナシ国
 06 67-10 御いそぎの御いそぎ讚御国
 06 67-10 いきおひ御いきをひ讚
 06 67-10 なりなざり陽
 06 67-10 四ぬにやかて四位に讚保国
 06 67-11 なしてんとおほし世人もさそあらんとおもへ
 るをなしてんかしとおほしよるとんみなさ
 思ひたる事なれと国
 06 67-11 おほし世人もおほしに人も麦阿
 06 67-11 おもへるおもひたる讚陽保
 06 67-11 またいときはなるほとをナシ陽
 06 67-11 またよに讚ナシ麦阿
 06 67-11 いときひはなるほとをひときわなる人を
 讚いと きひきはなるほとを保きひはな
 るほとにて国
 06 67-12 わかナシ国
 06 67-12 ゆくりなからんもゆつりなからむも陽麦ゆ
 つりもなからんは国ゆくりなからんも阿
 06 67-12 中ノめなれたることなりめつらしけな
 らん国
 06 67-12 なりナシ麦阿
 06 67-13 おほしとめつおほして国おもほしとめ

つ麦阿
 06 67-13 あさきにてあさきとて国
 06 67-13 殿上に天上上殿が本マノト傍記保天
 よト本マノト傍記国
 06 67-13 かへり給を返たまふ讚帰へたまふを陽か
 はり給を国
 06 67-13 大宮は大宮の国
 06 67-13 あかすあかはす麦
 06 67-13 あさましきくちをしき国
 06 67-13 おほしたるそおほしたるに讚
 06 67-14 ことはりにことはりにと讚ナシ国
 06 67-14 いとをしかりけるいとをしかりける讚い
 とをしきや国
 06 67-14 御たいめんおほむたいめん讚御たいめ
 麦御たいめの阿
 06 67-14 この事きこえことこの心きこへしらせ国此事
 を聞え麦阿
 06 67-14 給に給讚国
 06 68-01 かつかく讚陽保国
 06 68-01 しもナシ讚陽保国
 06 68-01 またきにをいつかすましつまたにほひつか
 すましつ讚またきをひつかすましつ陽保お
 ほえさすましく国
 06 68-01 侍れとはへると讚侍れは陽
 06 68-01 侍てありて讚陽保国
 06 68-01 大かくのみちにしはしならはさむのたいか
 くのすちにと国
 06 68-02 ならはさむのならはさんぬしノ上カラらは
 とノ上カラのヲ書クカ保

06 68-02 ほしい本讚ほんい保
 06 68-02 侍によりはへるによりて讚侍りてなん
 国侍り麦阿
 06 68-02 二三年を二三年のとしを国二三年麦
 阿
 06 68-02 いたつらのいたつらの陽いたつらにて国
 06 68-02 としに思ひなしてナシ国
 06 68-02 としとし月讚保
 06 68-03 つかうまつりぬへきつかうまつりましらひ
 ぬへき讚保つかうまつりつかうまつり保つ
 かうまつりにましらひぬへき陽つかまつる
 へきとしの国
 06 68-03 ほとにほとにも国麦阿
 06 68-03 ならはなり侍なは讚陽保侍りなは国
 06 68-03 いまとなり人とひとしうもなり讚陽保ひ
 としつひとしきつ讚ましらひ国
 06 68-04 うちに中に陽うちにて国
 06 68-04 おいとて侍ておひたち侍りしかは国侍て麦
 阿
 06 68-04 世中世国
 06 68-04 ありさまも有様も麦
 06 68-04 しり侍らすよるひる御前にさならひてし
 す国
 06 68-04 しり侍らすしり侍らす保
 06 68-05 御前御まへ陽をまへ保麦阿
 06 68-05 わつかにはつかに国
 06 68-05 ふみなともふみも讚ふなども陽ことも
 国文なと麦阿

06 68 05ならひ侍しナシ国
 06 68 05たゝナシ讚陽保国
 06 68 06御てよりつたへ侍したになにこも御つた
 へにてならひ侍りしになを世中を国
 06 68 06つたへ侍しつたへはへし讚
 06 68 06ひろき心世のひろき心地讚よのひろき心陽
 保世よのひろき心陽
 06 68 06ほとはぶみのさへをまねふにもことぶえのし
 らへにもねたえすをよはぬ所のほとに侍りさ
 やつの事ぶえのしらへもいたらぬ事国
 06 68 06ぶみのさへ文さい讚陽保文の阿
 06 68 07まねふにもまねふるも麦阿
 06 68 07ねたえすねたらす讚陽保麦阿ねたらぬす
 陽
 06 68 07をよはぬをよはぬ保
 06 68 07所のところ讚陽保
 06 68 07おほくおほう讚
 06 68 07侍ける侍るは国
 06 68 08かしこき子のつきへの国
 06 68 08いとナシ麦阿
 06 68 08ことにわざに讚保こと国
 06 68 08なむナシ国麦阿
 06 68 08侍れはなれは国
 06 68 08ましてまいて麦阿
 06 68 09つきへのつたはりつへたりゆかむほと
 行ききいとつしるめたなきによりなむ思ひ給
 へきて侍つたはりゆかん行末のつしるめ
 たきよになん国
 06 68 09うしろめたなきうしろめたき保麦阿

06 68 10なむなんかくも讚陽保なんと麦阿
 06 68 10思ひ給へをきて思給へをきて麦阿
 06 68 10いへ家い多陽
 06 68 10かうふり心にかなひ世のなかさかりにをこ
 りならひぬれはかくもむなとに身をくるしめ
 むかふりはかなるよのさへおくれぬれはひ
 とに見をとしめられん国
 06 68 10世のなかさかりにをこりならひナシ陽
 06 68 10世のなか世中の讚保
 06 68 11さかりさかへ讚保
 06 68 11いとをくいとおほく保いとおこに国い
 と物つく麦阿
 06 68 12なむナシ麦阿
 06 68 12おほゆへかめるおほゆへかめるに保おほゆ
 へかんめるされは国
 06 68 12たはふれあそひをたわふれあそひをのみ
 讚たはふれあそひに国たはふれあそひをの
 みなん麦阿
 06 68 12このみて心を入て国
 06 68 12心のまなる心のまに保心にまかせたる
 よに国
 06 68 12官爵に官さくに讚保くわんさくに陽つか
 さくらるに国みやひにのみ麦阿
 06 68 12のほりぬれはなりのほりぬれは麦阿
 06 68 13したかふよれる讚陽保よりぬる陽
 06 68 13世人の人の讚陽保世の人間
 06 68 13したにはしたに讚麦阿
 06 68 13はなましろきをこつめましろきをしなか
 ら陽保めましろきめるましろきヲ削ッテ

めヲ書ク保「なましいにおしへつ」国
 06 68 13ついでせうしけしきとりつしたかふついで
 つしけしききりつしたかふち二本下傍記
 讚ついでせうしけしきとりつしたかふ保ついで
 せうしけきにとりてあいたつる国
 06 68 13ついでせうしついでせうし陽ついでせうし麦つ
 いせまし阿
 06 68 14人とおほえてやむことなきやうなれとときつ
 つり人にいとおほえたれと時つり世おと
 るえ国
 06 68 14やうなれとやうになれと陽
 06 68 14ときつりときつつよ「ゴトキ字上カラ
 とヲ書ク」陽
 06 69 01さるへき人にさるへき人陽
 06 69 01たちをくれて世おとろふるす系には人にた
 ちをくれなとしぬれはよひに国
 06 69 01たちをくれてたちをくれて保たちをくれ麦
 阿
 06 69 01世に阿
 06 69 01おとろふるをとろふる保
 陽
 06 69 01す系にはす系のよには讚保すへの世は
 06 69 01かるめあなつらるるにかるめあなつらるるも
 讚陽かるめかるめ陽「かるめらるるも保あ
 なつらるるるも国かるめあなつら
 るるに麦阿
 06 69 02とるところかくれところ讚かゝり所陽保国
 麦とり所阿

06 69 02 なきことになむ侍なをさえをもとにしてこそ
 やまとたましひの なくなんはつるためしお
 ほくなをこととしてこそましらひの国
 06 69 02 ことに 陽
 06 69 02 もとにしてとにして麦
 06 69 02 こそ 陽
 06 69 02 やまとたましひの やまとたましぬも讚
 06 69 03 かた 事国
 06 69 03 つよう侍らめさしあたりては ナシ陽
 06 69 03 つよう侍らめまことにたのもしき事は
 国
 06 69 03 つよう つよく讚保
 06 69 03 さしあたりては さしあたりて讚保国
 06 69 03 やつに よ国
 06 69 03 侍れとも 侍りととも陽侍とん保侍るとも国
 06 69 04 つみの ついに讚陽保国
 06 69 04 世のおもじとなるへき心をきて よに思ふ事
 なかりぬへきおきて国
 06 69 04 侍らすなりなむ はへらさざん讚
 06 69 04 のちも のちのよも 讚陽保 のちのよにも
 国
 06 69 04 うしろやすかるへきによりなむ うしろやす
 かりな 陽八くノ上カラカヲ書ク 讚陽保 う
 しろやすく侍へきによりて国 うしろめたく
 やすかるへきによりなん麦
 06 69 05 たゝいまははかノしからすなからもかく
 てはくゝみ侍らはせまりたる大かくのしうと
 てわらひあなつる人もよも侍らしと思ふ給ふ

る ナシ国
 06 69 05 たゝいまは たゝいま陽
 06 69 05 はかノしからすなからも はかノしから
 すなからん 本ト傍記讚 はかはかしからぬみ
 (みながらもなからも八なりしもカ保
 06 69 05 かくて かくては讚
 06 69 06 侍らは 侍れは陽保
 06 69 06 せまりたる せきま(り)たる保
 06 69 06 大かくのしうとて 大かくのしうとて 本ト傍
 記讚 たいかくのしうとてしノ上カラカヲ
 書ク 陽 大かくすしることのヲ削ッテす
 ヲ書クカ保
 06 69 06 人も 人は讚陽保
 06 69 06 侍らしと 侍らしなと陽
 06 69 06 思ふ給ふる おもふおもふたまふる讚 思ひ給
 ふる陽 思給ふる保 思給る麦阿
 06 69 07 なとと 陽麦阿
 06 69 07 うちなけきうちなき 讚陽保国麦阿
 06 69 07 給て 侍ひて 陽 給麦
 06 69 07 けにかくも けにかうも 讚 けちかく 国 けに
 よくも麦阿
 06 69 07 おほしよるへかりけることを おほしよるへ
 き事なりけるを 讚保 おもほしよるへかりけ
 ることを 陽 おほしよるへきことなりけるを
 国 おほしよる也ける事を 麦阿
 06 69 08 この ナシ国
 06 69 08 なとも なんとん国
 06 69 08 あまり あまりに 讚 あき(ま)り保
 06 69 08 ひきたかへたる ひきかへたる 麦阿

06 69 08 なりと 地と保と国
 06 69 08 かたふけはへるめるを かたふき侍讚 かたふ
 き侍めるを 陽麦阿 思かたふき侍めるを 保か
 たふき侍れは国
 06 69 09 この ナシ讚陽保
 06 69 09 おさな心ちを さなき心讚国 ヲヨぞなこ
 る保を さなき心ち麦阿
 06 69 09 いとくちおしくいとくちをしう陽 いとく
 ちをしく保 ナシ国
 06 69 09 左衛門督 左衛門のかみなと 讚陽保 さえも
 んのかみなと 保 兼もんのかみ国 右衛門督
 阿
 06 69 09 なとを ナシ讚を 陽保 などの国
 06 69 09 われよりは下らうと われよりは下らうに
 保 ナシ国 我より下らうと 麦阿
 06 69 10 おもひおしたりしたにおもひを したり
 しに 讚 思ひあなつりたりしも国
 06 69 10 みな みなノ讚
 06 69 10 をのノかゝいしのほりつゝかうはし
 国
 06 69 11 あへるにあへるめるを 讚 あつめたるに
 保 あはれに 国
 06 69 11 あさきを あさきを 保
 06 69 11 いと ナシ国
 06 69 11 からしからうし 阿
 06 69 11 おもはれたるにおもはれたるか 讚陽保 麦
 阿 思はれたるを 国
 06 69 11 心くるしく心くるしう 讚陽保 麦阿 あはれに
 国

06 69 11 侍なり見侍なり国侍麦阿
 06 69 11 きこえ給へはの給へは国
 06 69 12 うちわらひ給てうちわらひて保
 06 69 12 いとナシ国麦阿
 06 69 12 およすけてもをよすけて讚陽保心のおよすけて国
 06 69 12 うちらみ侍なりなりなうちらみなりな讚うちらみ侍なりなりな陽うちらみ侍なり保うちらみ侍なりり国うちらみ侍なりしな麦阿
 06 69 12 いとはかなしやこの人のほとよとてナシ讚
 06 69 12 いとはかなしやはかなや国
 06 69 13 ほとよほとに国
 06 69 13 いとナシ麦阿
 06 69 13 おほしたりおほしたる讚おほたりいま国おほしたり麦阿
 06 69 13 すこしもの心物への心すこし讚すこしもの心陽もの心とるすこし保物への心
 06 69 13 え侍らはえなは讚え侍は保
 06 69 14 そのうちらみはをのつからそのうちらみをのつから讚おのつからつらみ国
 06 69 14 きこえ給きこえ給へ讚
 06 69 14 ひむかしの院にてしたまふナシ讚
 06 70 01 しつらはれたりしつらひて保
 06 70 01 めつらしくめつらしう讚保我もノと国
 06 70 02 いふかしきいそかしき讚ゆかしき国麦阿

06 70 02 ことにして事にて讚国
 06 70 02 我もノとナシ国
 06 70 02 つとひまいるまいりあつまり国
 06 70 02 はかせとも中ノはかせともおほく国
 06 70 02 おくしぬへしおくしぬへく陽ふくてぬへし国
 06 70 03 はかるはかる「リノ上カラルヲ書ク」陽
 06 70 03 所事讚陽保国
 06 70 03 れいあらむにまかせてなたむる事なくナシ麦
 06 70 03 れいあらむにれいあらむねのノ上カラアヲ書ク陽
 06 70 03 あらむにまかせてなたむる事なくきひしうをこなへあやまつな国
 06 70 03 なたむる事なくれつものしう讚八本ト傍記「讚保しつしふ削訂」保のしう一字分
 06 70 03 きひしうきひしく讚保
 06 70 04 おほせ給へはの給国の給へは麦阿
 06 70 04 思ひなしていへよりほかにもとめたるナシ
 06 70 04 いへよりほかに家いへより外に陽
 06 70 05 うちあはすかたくなしきうちあはぬかたくなはしき讚
 06 70 05 なとをもなとを讚陽保
 06 70 06 むへしくもてなしつむくしくもて

なして讚むへしうもてなしつ陽
 06 70 06 座にさらに保
 06 70 06 つきならひたるつきならひたくる保
 06 70 06 さほうほと讚陽保
 06 70 06 はしめはしめて讚
 06 70 07 なりなれば讚陽保
 06 70 07 わかききんたちはわかきんたちなんとも讚わか君たちは陽わかきむたちなどは保わかき上達部は麦阿
 06 70 07 ほつゑまれぬほゑまれぬ讚ほゑんぬん八みノ誤写力陽ほゑまれぬ保麦阿
 06 70 07 すましくすましき讚すましつ陽すまして阿
 06 70 08 すくしつすこし讚陽保
 06 70 08 しつまれるしつかなる保
 06 70 08 かきりをとかきりを麦阿
 06 70 08 えりいたしてえりいでえ二本ト傍記讚
 06 70 08 へいしへし讚
 06 70 08 給へるに給へるを讚
 06 70 09 すちことなりけるそら事なりける讚すちことなりけるにノ上カラなヲ書ク陽
 06 70 09 ましらひにてましろいにて保
 06 70 09 右大将左大将讚
 06 70 09 おほなノをうなノ讚
 06 70 10 給へるを給へるをも讚たまへるをノ後ノもヲ削ル保
 06 70 10 とかめてつととかめてつ讚陽保とよめてつ阿
 06 70 10 をろすをとす讚おほす阿

06 70 10 おほしかいもとあるしをしかむもとあるゝ
 けを二本傍記讚をしかいもとあるし陽を
 しかいもとあるしは保おほしかひもとある
 しも阿
 06 70 10 ひさうに侍りたうふひさうに たうふ 二
 本ト傍記「讚」ひ將に侍たうふ保ひそつに侍
 りたうふ阿
 06 70 11 かくはかり かうはかり讚
 06 70 11 しらすしてやおほやけにはしらすしておほ
 やけに麦阿
 06 70 12 つかうまつりつかへ讚陽保
 06 70 12 たうふ たうふ「本ト傍記」讚 たまふ保麦
 阿
 06 70 12 などと麦阿
 06 70 12 人々みな みな人讚国 みな陽 みな人保 人
 皆麦阿
 06 70 12 ほころひてをとろひて讚 ほゝえみて 国
 06 70 12 わらひぬれはまたなりたかしなりやまむはな
 はたひさう也さをひきてたちたうひななんと
 をとしいふもいとおかし わらひぬへしみち
 のはかせとんのいゝあえる事ともいとおかし
 ければ 国
 06 70 13 また ナシ麦阿
 06 70 13 ひきて ひき陽
 06 70 13 たち たち侍り保
 06 70 13 たち たうひなん たち給なん麦阿
 06 70 14 などと陽麦阿

06 70 14 をとしをし讚 おとして麦阿
 06 70 14 みならひ給はぬ みなゝひ給はぬ讚
 06 70 14 人々はめつらしくけうありとおもひ 人はお
 かしとおほす 国
 06 70 14 めつらしくめつらしく陽
 06 70 14 けうありけふあり讚陽保
 06 71 01 おもひ 思保麦阿
 06 71 01 いてたち いて位(たち)陽なりいて 国麦
 阿
 06 71 01 給へる たまへるに陽
 06 71 01 したりかほしりかほ 国
 06 71 01 うちほゝえみ ほをえみ讚国(こぞうち)ほを
 えみ保 ほゝえみ 国(うちえみ)麦阿
 06 71 02 などしつゝ なたして保 給えり 国
 06 71 02 かたさまを 方を讚 道を 国 かたさま 麦
 阿
 06 71 02 おほしこのみて心さし給かめてたきことゝ
 いとゝかきりなくおもひきこえ給へり ナシ
 国
 06 71 02 おほしこのみて おもほしのそみて 麦阿
 06 71 02 給か たまふる保 給へる 麦阿
 06 71 02 ことゝ 事を 麦阿
 06 71 02 いとゝかきりなくいふかきりなく讚 いとゝ
 かきりなつ 陽
 06 71 03 いさゝかものいふをもせいすなめけなりと
 てもとかむ いさゝかのことをもとかむと
 国
 06 71 03 いふをも いふも 讚陽
 06 71 04 かしかましよう かしかましく 讚保

06 71 04 のゝしりをるかほとも夜にいりては ナシ
 讚
 06 71 04 のゝしりをるのゝしりたる保
 06 71 04 かほとも かほとも保 麦阿 かほの 国
 06 71 04 夜よ陽保 国
 06 71 04 いらては いらて 国
 06 71 04 いますこし ナシ 国
 06 71 05 けちえんなるけちえん 八に八るノ誤写「
 讚
 06 71 05 さるかつかましくわひしけに人わるけなるな
 とさまノゝにけにいとなへてならず わひし
 く道の人はいと 国
 06 71 05 さるかつかましくさるかつかまし 陰く陽さ
 るかつかましよう 保
 06 71 05 人わるける 人わるき 讚陽保 人わるける
 麦阿
 06 71 05 さまノゝにいとさまノゝにて 讚保
 06 71 06 けに ナシ 陽
 06 71 06 なへてならず なへてならぬ 保
 06 71 06 わさなりけり わさなり 陽 わさけりと
 国
 06 71 06 おとゝはをいては 讚(こを)ゝは 陽
 06 71 06 いと ナシ 国
 06 71 06 あされ あはれ 保 あはれに 国
 06 71 07 けうさうし けうさむ 七 保ガむ ヲミセケチニ
 シテマトスル 八 後補力「讚保」けさうし 陽 け
 んせうに 国
 06 71 07 まとはかされなんと まとはされたと 讚陽 ま
 とはされなんと 保 麦阿 まとわれなんと て

国

06 71-07の給てのたまつて陽ナシ国
06 71-07みすのうちにかくれてそ御らむしけるかく
れのみすのもとにてそ御らんしけれ国

06 71-08座につきあまりてかへりまかつるさかつき
あまりつたへかへりまりつるまりつる二本

まゝト傍記[国]

06 71-08座にまゝト保

06 71-08まかつるはまがつる陽たまかつる保

06 71-08大かくのしうとも大かくのしゆとも讚保す
とんは国大かたのしうとも阿

06 71-09あるをきこしめしてつり殿のかたにめしとゝ
めてことにめしかへして国

06 71-09かたかく阿

06 71-09めしとゝめてめしとゝめて阿

06 71-09たまはせけり給いてけり讚のたまはせけり
保たひけり国給はらせけり麦阿

06 71-10ことはてゝこといてゝ麦

06 71-10まかつるまかりいつる讚まかんつるに
国

06 71-10はかせナシ讚はかせとんに国

06 71-10さい人ともめてまたノナシ国

06 71-10さい人ともさい人ともを讚さへある人とも
陽

06 71-10給給て国

06 71-11かきりをはかきりは讚は国かきりを麦
阿

06 71-11みなとゝめみなとめ讚とまり国

06 71-11さぶらはせ給候はせさせたまふ保さぶらひ

給国

06 71-11人ノハ人ノハをはしめ国

06 71-11四あんしあむのしわ讚四あんのし陽保ナ
シ国

06 71-12たノ人はたの人は讚陽たノ人国たノ
の人ノハは麦阿

06 71-12おとゝをそのおとゝよりを国

06 71-12たてまつりナシ国

06 71-12絶句し讚とくく陽せんく国

06 71-12給給に讚

06 71-12興ある題のもしえりてらうあるにしにてそ
国

06 71-12興あるけふある讚保けつある陽麦阿

06 71-12題のもしたいるんのもよいノ後二補入符
号アリ[保]

06 71-13文章博士もんしやうはかせ讚麦阿文さうは
かせ陽保もんさうはかせ保はかせ国

06 71-13みしかきころの夜なれはあけはてゝそかうす
るナシ国

06 71-13ころの夏讚

06 71-13夜ノ陽

06 71-13左中弁うたひへん国右中弁麦阿

06 71-13かうしつかうまつるかうしつかうまつる
讚ナシ国

06 71-14かたちなをしすかたかたち国

06 71-14こはつかひものノしくこはつかひものノ
しう陽保おのノしうこはつかひものノ

06 71-14よみあけたるほとおもしろしナシ国

06 72-01ほとナシ保

06 72-01おもしろしいとおもしろし讚陽保麦阿

06 72-01おほえおほえなと讚陽保国

06 72-01心ことなることなる国

06 72-01なりけりなり讚国なりける陽

06 72-01いゑにいゑとも讚家(いゑ)に陽いゑのこ
に麦阿

06 72-02せかい世間陽国

06 72-02のみナシ国

06 72-02たはふれ給へきたはふれたまふへきに削
訂保

06 72-02御身をもちて御事をもちて讚御身みをも
ち上事ヲ身ニ直ス[陽] いくつかしき御みを
もちて保御身に国

06 72-02まとのほたるまことのほたい国

06 72-03むつひむつひ保

06 72-03えたの雪をならし給心さしみたのゆきにほ
うし給へき御心さし国

06 72-03よしをよし保を国

06 72-03こと物国

06 72-04なすらへてなすらへつゝ讚陽保国

06 72-04心ノノにナシ讚国(こころ)ノノに陽こ
ろ心に保

06 72-04つくりあつめたるくことにつくれるぶみと
ん国

06 72-04おもしろくおもしろつ国

06 72-04もろこしにももろこしに讚

06 72-04もてわたりつたへまほしけなるもていたさ
まほしき国もてわたりつへくつたへまほし
けなる麦阿

06 72 05 夜の世の讚よの陽保国麦代の阿
 06 72 05 ふみともなりふみ国
 06 72 05 めてゆすりけるめていひける讚のしりける
 国
 06 72 06 御は御文は陽御文国御さくは麦阿
 06 72 06 さらなりさらなり本下傍記讚よさら也
 「後補力」保ナシ国
 06 72 06 おやめきをやめきて讚いとをやめき
 国
 06 72 06 あはれなることさへすくれたるを涙おとして
 すしさわきしかとあはれなりとすこしのし
 しふすニミセケチカ「国
 06 72 06 ことさへことさへ讚陽ことさへもさ
 へ保事さへそひて麦阿
 06 72 06 すくれたるをむすくれたるを保
 06 72 06 すしすんし讚陽
 06 72 07 さわきしかとさはきしかとも保
 06 72 07 女の女の古保
 06 72 07 えしらぬしらぬ讚麦阿ゑんし(らぬ志ヲ
 ゑ二直ス力「保
 06 72 07 にくきことをとつたてあはれもらしついと
 にくきわさなれはとつめつ国
 06 72 07 にくきことをとにくき物をと讚保にくきに
 ことをと陽
 06 72 07 うたてあはれつたてあれたては(陽
 06 72 08 給て給ては讚
 06 72 08 院の内院国麦阿
 06 72 08 御さつしみさつし麦阿
 06 72 08 つくりてつくらせ給て国

06 72 09 さえさい国
 06 72 09 きこえナシ国
 06 72 09 給てそたまつてそ保給て国麦阿
 06 72 09 かくもんかくもんは讚陽かくも保
 06 72 09 せさせたてまつり給ける大宮の御もにもお
 さノまつて給はずナシ補入符号「ミアリ」
 保
 06 72 10 給けるたまふ讚国
 06 72 10 御もにも御もにも讚御もへも国
 06 72 10 まつてまいり讚えまいり国
 06 72 10 よるひるつづくしみてナシ国
 06 72 11 のみナシ讚
 06 72 11 もてなしきこえもてなしかしつきこえ
 讚夜るひるめはなたすつづくしみ国
 06 72 11 給へはたまひつれば保給へは国
 06 72 11 えものならひものえならひ国
 06 72 12 三たひ二度讚
 06 72 12 はかりをまいり給へとそゆるしきこえ給け
 るはかりまいれとおきて給へり国
 06 72 13 きこえきこえ保
 06 72 13 こもりお給てこもり給て保こもりいて
 国
 06 72 13 まんにまんには讚
 06 72 13 殿をとのは保国
 06 72 13 つらくもおはしますかなつらくおはする物
 哉と国
 06 72 14 かくかう陽
 06 72 14 くるしからても「ク」るしからて讚国
 06 72 14 たかきくらぬにくらぬにも国

06 72 14 人は人保
 06 73 01 思きこえ給へとおほせと国
 06 73 01 おほかたの人からまめやかにあためきたる
 所なくおはすれはいとよくねんしてナシ
 国
 06 73 01 人から人からの保
 06 73 01 あためきたるあためいたる讚
 06 73 01 所なくところなやこノ上カラと「ヨ書ク」
 保
 06 73 02 いかてとく国
 06 73 02 ふみともふみなとも国文とを麦阿
 06 73 02 とくナシ保国麦阿
 06 73 02 ましらひもし世にもいてたらんと思てナシ
 国
 06 73 03 いてたらんといてたむと讚陽保
 06 73 03 四五月のうちに四五日のほとに国四五月の
 中に麦阿
 06 73 03 などと国麦阿
 06 73 03 ふみ文は讚陽保国ナシ麦
 06 73 03 よみはてよみいて麦阿
 06 73 03 給てけりたまひにけり讚給けり麦阿
 06 73 04 いまは今麦阿
 06 73 04 寮試れうけん陽
 06 73 04 うけさせむせさせん陽うけさせ給はむ
 国
 06 73 04 まつ我御まへにてまつりかまへの国
 06 73 04 我ナシ保
 06 73 04 御まへをまへ保麦阿

06 73 04 心みさせ 心みせさせ 讚保こころみし国
 06 73 04 左大弁 右大弁 麦阿
 06 73 05 式部大輔 しきぶのたいふ 讚陽 しきぶの大輔
 (ゆふぶの) 補入ノの八ゆふト同筆力保
 06 73 05 左中弁 などはかりして ナシ国
 06 73 05 左中弁 右中弁 讚陽阿
 06 73 05 などはかりして はかりそさては 麦阿
 06 73 05 御師の大内記を 大内記国
 06 73 05 かたきまきノ かない 麦国
 06 73 05 れつしうけん ねつけん 陽 れつしうつくろ
 くに国
 06 73 06 かせのかへさふへきふしノをひきいて、ひ
 とわたりよませ ナシ 讚
 06 73 06 ふしノをふしノも保ふしノ国
 06 73 06 ひきいて、ひきいてつゝ 陽 保 見わたしてひ
 きかへし 国
 06 73 06 ひとわたり ナシ 国
 06 73 07 いたらぬ みいたたらぬ 陽
 06 73 07 くもなく てむなく 讚 てもなく 陽 くまなく
 国 麦 阿
 06 73 07 かたノに にかたノ 国
 06 73 07 かよはしよみよみ 陽 かよひ 国
 06 73 07 つまじるしのこらす つまじるしの心地す 讚
 保 心地 心 ち ち ミセケチ 後 補 力 保 御 ま じ
 なしのこらす 国
 06 73 08 あさましきまて ありかた ければ あさましう
 ありかたきまて おはす れば 国
 06 73 08 さるへきにこそおはしけれと ナシ 阿

06 73 08 おはしけれと ものせさせ 給けれと 陽 もの
 し 給けれとて 国
 06 73 08 たれもノ たれノも 讚 国 たれノもノ
 陽
 06 73 09 涙おとし なみたを なかし 保 なみた くみ
 国
 06 73 09 大将は 大将 麦 国
 06 73 09 まして ナシ 国 まいて 麦 阿
 06 73 09 こおとノ 大 どのノ 讚 こおとノ 国
 06 73 09 きこえて、きこえて 給て 国 の 給いて、
 麦 の 給はて、 阿
 06 73 09 なき 給 ない 給 讚 し ほたれ 給 国
 06 73 10 心つよう 心つよくも 讚 心つよく 陽 保 つよ
 くに 国
 06 73 10 もて なし もて なひ 麦 阿
 06 73 10 かたくなリと かたく 讚 ナシ 国
 06 73 10 みき、みきこえ 讚 み 給 へ 国
 06 73 10 侍しを 侍りに 国
 06 73 10 おとなふるに おとなふる 本 下 傍 記 讚 おと
 なひ ゆくまに 国 を なふる 阿
 06 73 11 たちかはり たかけり 讚 ナシ 国
 06 73 11 ことは を は 讚 わさ 国
 06 73 11 かくる かく 陽 国
 06 73 12 世に わさに 讚 保 ナシ 国
 06 73 12 こそこそは 国
 06 73 12 の 給ひてを しのこひ 給を みる の 給 国
 06 73 12 御師 し 陽
 06 73 12 心ち 心ちもいと 国
 06 73 12 めいほく めんほく 陽 保 国

06 73 13 ありとおもへり あり 讚 陽 保 国
 06 73 13 給へはいたう 給 国
 06 73 13 いたう いたく 讚 陽 保
 06 73 14 さえさい 保 国
 06 73 14 もちぬられす、けなくとも ちぬられす けな
 くて 讚 もちぬられす、けなうて 国
 06 73 14 身 ナシ 保
 06 74 01 しきあきつ 神 陽 国
 06 74 01 御らんしうる 御らんしたる 讚 麦
 06 74 01 とりわき とりわきて 保
 06 74 02 まて まての 保
 06 74 02 御かへりみ 御返事 陽
 06 74 02 給りて たまはりて 讚 陽 保 有て 麦 給て
 阿
 06 74 02 御とく 御とも 阿
 06 74 03 思へは みゆれば 讚 保
 06 74 03 まして まいて 麦 阿
 06 74 03 おほえに そおほえにて 麦 阿
 06 74 04 日は ひひは 本 行 ひ 八る 二 似ル 保
 06 74 04 れうもん れうし 讚 麦 阿 れう 陽
 06 74 04 かむたちめのかむたちめ 陽
 06 74 05 のこりたるのこる人 讚 保 のこりたるは
 陽
 06 74 05 もて かしつかれてもて かしつかれ 麦 阿
 06 74 05 つくるはれつとくろはれ 陽
 06 74 05 いらまいり 陽
 06 74 06 くわさの君 火さの君 讚 くり(わ)さのきみ
 陽
 06 74 06 御さま 御ありさま 陽

06 74 06 ましらひには ましらひに讚 ましらひには
 陽 ましらひかは麦 ましらひからは阿
 06 74 07 あやしきあやしけなる保
 06 74 07 ものとも物とん保
 06 74 07 たちましり ナシ陽 うちましり麦阿
 06 74 07 きいたるつきぬたる阿
 06 74 07 おほすそ おほすは讚
 06 74 08 おろしをこし讚 おとし麦阿
 06 74 08 のゝしるのゝしるを陽
 06 74 08 ものとも物とん保
 06 74 08 めさましけれとめさましけれとくノ上カラ
 けヲ書ク陽いとめさましけれと保
 06 74 09 よみはてよみえて讚
 06 74 09 給つ給つ陽 給へり麦阿
 06 74 10 かみなかしもの かみなからも讚
 06 74 10 人ナシ讚 人ノ麦阿
 06 74 10 世のなかにさえあり世中あへあり讚
 06 74 11 人おほく人ノおほく讚 おほえ麦
 06 74 11 ありけるしつまりける讚陽保
 06 74 11 擬生き讚 きさつ陽保 きさつ麦阿
 06 74 11 いふなる事ともよりいふなに事ともより讚
 06 74 12 うちはしめはしめ麦阿
 06 74 12 すかノしうすかノしく保
 06 74 12 はてしはて讚保 みはて陽 よみはて麦
 阿
 06 74 12 給へれはたまひつれば保
 06 74 12 ひとへにひとへに陽
 06 74 12 心にいれて心いれて讚陽保

06 74 12 てしもナシ麦阿
 06 74 12 いとナシ讚
 06 74 13 はけみまし給はけまし給讚 はけみしたまふ
 保
 06 74 13 しけくしける陽
 06 74 13 はかせはかせ保
 06 74 13 さい人ともさへある人とも陽 さい人ともま
 いら麦阿
 06 74 14 みちノ人の道の讚 みちノひと陽麦
 阿
 06 74 14 さえのほとさへ陽
 06 74 14 世 御世讚陽保
 06 74 14 ありけるありけるは讚
 06 75 01 齋宮女御さい宮の女御讚陽保麦阿
 06 75 01 こそは宮もこそは宮す所の陽
 06 75 01 うしろみと御うしろみにと讚保 御うしろみ
 にて陽 御うしろみに麦阿
 06 75 02 ことつけ給ことつけ給に保
 06 75 02 うちしきりうちししきり陽 うちつゝき
 麦つゝき阿
 06 75 02 世の人世人讚麦阿 よ人も陽
 06 75 03 こうきてんのこきてんの保八にノ上カラの
 ヲ書ク陽保麦阿 こきとのゝてんの陽
 06 75 03 まつナシ讚
 06 75 03 給にしも給しにも陽 給しも保
 06 75 03 いかゝなとつちノによせおもきをいかな
 らむとつちノにも保
 06 75 04 おほつかなかりおほつかかり麦
 06 75 04 兵部卿宮 兵部卿の宮讚陽 兵部卿保

06 75 04 きこえしはきこえし讚陽阿 聞し麦
 06 75 05 いまはナシ保
 06 75 05 御時には御ときは麦阿
 06 75 05 ましてまいて麦阿
 06 75 05 やんことなきいとやんことなき讚保
 06 75 05 御おほえおほんおほえ陽
 06 75 06 給へり給讚
 06 75 06 おなしことおなしことはらに讚おなし
 保
 06 75 06 王女御 女御に女御てノ上カラ後出女ヲ書ク
 讚 三人女御麦阿
 06 75 06 給を給麦阿
 06 75 06 おなしはトヲなしう讚
 06 75 07 御はかたはかた讚陽保 はかた陽
 06 75 07 したしくしたしう讚陽 したしう陽
 06 75 07 おはすへきにおほすへきに讚をはすへき
 保
 06 75 07 こそはこそ讚陽麦阿
 06 75 07 はきさきの はきさいも讚
 06 75 07 御かはりの御かはりにノ上カラのヲ書ク
 讚 御かりの阿
 06 75 08 うしろみにと御うしろみに讚保 うしろみに
 陽 御うしろみと麦阿
 06 75 08 とりノとりに保
 06 75 09 むめつほむめつほに讚
 06 75 09 世の人よ人陽麦阿
 06 75 10 おとナシ讚陽
 06 75 10 太政大臣 太政本将歟 大臣讚 大上天王 大
 二ミセケチカ保

06 75 10 あかり給て大将内大臣にナシ陽
 06 75 10 あかり給てあかりみ給て讚保
 06 75 10 なりあかり麦阿
 06 75 10 なり給ぬなり給讚なり給て陽保
 06 75 11 ことゝも事も讚
 06 75 11 給へくゆつりきこえナシ讚
 06 75 11 すくよかすゝよか麦
 06 75 11 きらゝしくてきらゝしくて讚
 06 75 12 て心もちぬなともかしこくものしたまふかく
 もんをナシ阿
 06 75 12 心もちぬ心もち陽
 06 75 12 なともなど讚
 06 75 12 し給ければこのみ給へれば陽
 06 75 12 ゐんふたきぬふたき讚八本ト傍記讚陽
 06 75 13 まけ給しかとまてたまひしかと讚
 06 75 13 おほやけことにおほやけ事には讚保麦阿お
 ほやけこと事には陽
 06 75 13 なむなんは讚なんをはしける保
 06 75 13 はらゝに御こともよ人御はらゝに十
 よ人御ことも讚
 06 75 13 御ことも御ことん保
 06 75 14 おとなひつゝをとなひつゝ陽
 06 75 14 ものしふし阿
 06 75 14 給ふも給保
 06 75 14 つきゝに人ゝつきゝに讚つきゝ保
 麦阿
 06 75 14 御い糸のうち御家い糸の中陽
 06 76 01 女女子麦阿
 06 76 01 女御たゝ女御讚保女御殿麦阿

06 76 01 いまひと所いまひとゝころと保麦阿いまい
 〔ま保〕
 06 76 01 わかんとをりはらにてわかうおとりはらにを
 はしけれと讚わか人をりはらにて保
 06 76 02 すち所麦阿
 06 76 02 そのナシ麦阿
 06 76 02 はゝ君はゝ保
 06 76 02 北方になりてきたのかたにて讚
 06 76 02 さしむかへるさしむかへかへる陽さしむか
 ひたる麦阿
 06 76 03 子どもの御ことも讚御ことも保子とも
 麦事とも阿
 06 76 03 かつナシ讚御かつ(かす)陽
 06 76 03 なりてなりてをはずは讚なとして
 保
 06 76 03 それにませてナシ保それにまかせて
 阿
 06 76 04 大宮にそ大宮に麦阿
 06 76 04 給へりける給ける保給へり阿
 06 76 04 女御にはこよなく思おとしきこえ給つれと
 人からかたちなといとつつくしくそおはしけ
 るナシ麦
 06 76 05 きこえナシ保阿
 06 76 05 給つれと給へれと讚陽保阿給えれとはノ
 上カラとヲ書ク陽
 06 76 05 なとなんと阿
 06 76 05 いとナシ陽
 06 76 05 つつくしくそつつくしくそ陽阿つつくしくて
 保

06 76 05 冠者の君火さの君讚くわさの君陽保くわ
 さの君陽くはさの君と麦阿
 06 76 06 ひとつにてひと所にて麦阿
 06 76 06 をのゝナシ麦
 06 76 07 人なれとひとなれは)と(陽ほとなれと保
 06 76 07 おのこゝにはをのゝ讚をのこには保お
 のこゝは阿
 06 76 07 物人讚
 06 76 07 ちゝおとゝちゝおとゝをゝ陽
 06 76 08 けとをくなりたるけとをなりたる
 讚
 06 76 08 なりにたるわたる陽
 06 76 08 おさな心にゝヲさなき心にも讚をさな
 こゝちにも陽おさなこゝに保おさなき心
 ちに麦阿
 06 76 08 思ふこと思ふこゝる讚保
 06 76 09 ひゝなあそひのひぬなあそひぬにノ上カラ
 のヲ書ク陽
 06 76 09 ついせうついで陽
 06 76 09 まつはれまとはれ讚陽麦阿
 06 76 10 心さしを心さしも讚
 06 76 10 みえきこえみえたてまつり讚陽みえありき
 保見え阿
 06 76 10 いみしうおさなきこゝちにはいみしく
 保
 06 76 10 けさやかにはいまもいまもけさやかには
 保
 06 76 10 はちえはち讚

06 76 11 なにかは何かは「傍記力」麦
 06 76 11 御心とち 御とち保とち麦阿
 06 76 11 なれはなれ阿
 06 76 11 みならひ給へる御あはひを みならひ給へる
 御あそひを讚 みならひ 給へる御あはいな
 れは陽 みならしたまへる御あそひ(は)ひは保
 06 76 12 にわかにも かに(は)りか(に)も保 にはかに
 麦阿
 06 76 12 いかゝはいかゝ保
 06 76 12 はしたなめははしたなめ讚陽保麦阿
 06 76 13 なに心なく なに心もなく陽保
 06 76 13 おはすれとをさなうをはすれは讚をさな
 くおはすれと陽麦阿をさなくをはすれ保
 06 76 13 ほとゝ人と陽 ほと阿
 06 76 13 みきこゆれ みきゆれと讚 みきこゆれと陽
 麦聞ゆれと阿
 06 76 14 これをそこれこそ讚 これをつらみかはしつ
 ゝ保
 06 77 01 心なくおもふへきしつこゝろなくそ
 思たまふへき保
 06 77 02 心おさなくて 心をなくて讚 心をさなつて麦
 阿
 06 77 02 をのつからをのつからも讚
 06 77 02 おちゝるちる讚陽保(友)ち(る)陽
 06 77 02 おりをりなと讚をりなとの陽をりなとも
 保
 06 77 02 あるを御かたの人ゝはほのゝしれるもナ

シ麦阿
 06 77 02 御かた おほかた保
 06 77 03 ほのゝほの陽
 06 77 03 されるも するをりも保
 06 77 03 ありけれとありけれは讚
 06 77 03 かくこそかゝる麦阿
 06 77 04 あるなるへし ナシ陽
 06 77 04 はてゝすきて保
 06 77 04 御いそぎ いそぎ讚 御いそぎとも麦阿
 06 77 05 のとやかに 心のとやかに讚
 06 77 05 うは風はかせ麦阿
 06 77 05 たゝならぬ たゝならぬたゝならぬ陽
 06 77 06 まいり給て まいりて陽麦阿
 06 77 06 など ナシ讚
 06 77 07 ひかせたてまつり給ひかせたてまつり給へ
 り 給ノ上カラたヲ書ク「讚」ひかせたてまつ
 らせたまふ保
 06 77 07 宮は ナシ讚
 06 77 07 よろつのよろつ麦阿
 06 77 07 ものゝ上すに物ゝ物ゝ敷上すに讚 ものゝ
 さつすに陽ゝ物ゝ物ゝ上すに保
 06 77 07 おはすれはをはしませは讚保
 06 77 08 したるに したる讚 したるは麦阿
 06 77 08 らうゝしきものに 両ゝしきものには讚 ら
 うゝしつ陽
 06 77 09 まことしつこことしつ讚 まこと敷麦 まこと
 しく阿
 06 77 09 侍らすなりにたりまなひえす成にけり麦
 阿

06 77 09 なにのみこ何の御子麦阿
 06 77 09 くれのひとりの讚
 06 77 09 源氏など源氏のなと麦
 06 77 10 かそへかすへ保
 06 77 10 給てたてまつりて讚 給て保
 06 77 10 女女保
 06 77 10 なかにはなかにはたゝいま讚 中には只今の
 保中には麦阿
 06 77 10 こめをきこめをい讚
 06 77 11 上手と上すに麦阿
 06 77 11 きゝ侍れきこえはへれ讚 きゝ侍れと麦
 阿
 06 77 11 ものゝ上すのゝちに侍れとすゑになりてす
 ゑに也てや物の上すのゝちには麦すゑにな
 りてや物の上すのゝちには侍とすゑに成て
 阿
 06 77 11 へ「ち」にすちには陽
 06 77 11 侍れと侍と讚はへれとん保
 06 77 11 すゑすゑへノ上カラゑヲ書ク「讚」
 06 77 11 山かつ山かつの中麦阿
 06 77 12 人の人麦阿
 06 77 12 いといと讚
 06 77 12 こそ(こそ)こそ(陽)
 06 77 12 のたまふの給を麦阿
 06 77 13 おりゝ侍れこと事よりはあそひのかたのさ
 えはなを ナシ麦阿
 06 77 13 侍れ侍讚
 06 77 13 よりはよりも讚陽保
 06 77 13 さえさい陽保

06 77-13 ひるうあはせにひふ本卜傍記讚ひるくあ
 はせ保
 06 77-13 かれこれにかれこれ阿
 06 77-14 かよはしかよはして保まよはし阿
 06 77-14 かしこけれかしこけれは讚かしこけれ
 陽
 06 77-14 ひとりことにてひとりことにては麦阿
 06 77-14 上すと上すに陽
 06 77-14 なりけんなりなん讚
 06 78-01 宮に宮こそ讚
 06 78-01 そのかしそん(の)かし陽
 06 78-01 こと事なと保
 06 78-01 うぬくうぬくうぬくうぬくうぬく
 保
 06 78-02 なりにけりやなりてにけりや麦
 06 78-02 おもしろうおもしろく保
 06 78-02 猶ナシ讚保
 06 78-02 あやしうあやしく保
 06 78-03 なりや也麦阿
 06 78-03 おいよいよナシ麦阿
 06 78-03 もたまつらぬもたまへる讚もたまへらぬ陽
 保麦阿もたまへられぬ後補力保
 06 78-03 まうけさせたてまつりてまつけたてまつり
 給て陽
 06 78-04 やつしめたらすやつし給はず讚やつしたら
 す保麦阿やつしやつし麦阿
 06 78-04 やむことなきやんことなきかた麦阿
 06 78-04 ゆつれるゆつる讚

06 78-04 心おきて心をききノ上カラをヲ書ク陽心
 をきてなと麦阿
 06 78-04 こともなかるへきをもなかるへき讚ことな
 るへき麦阿
 06 78-05 き侍なと聞え侍なと麦
 06 78-05 かつ御ものかたりかつは物語麦阿
 06 78-05 心はせより心はせに麦阿
 06 78-06 世に世にも陽
 06 78-06 物にものにて陽
 06 78-06 侍けれはんへれ讚麦阿侍れ麦阿
 06 78-06 なとと保
 06 78-06 女御を女御をは麦阿
 06 78-06 けしうはけしき(う)は陽けしは麦
 06 78-07 なに事もなに事をも讚
 06 78-07 おとりてはをとりて讚麦阿
 06 78-07 おひいてすおほいてす讚保おもひいてす
 陽
 06 78-07 思給しかと思ふたまへしかと讚陽保思ふた
 まへかしかと讚思ひたまへしかと陽思給し
 かしと阿
 06 78-07 思はぬおほえぬ讚陽保
 06 78-07 をされぬるをされきこえぬる陽保おされぬ
 る麦
 06 78-08 侍ぬる侍ぬるに麦阿
 06 78-08 いかていかて(て)陽いかに保
 06 78-09 侍らん侍らんと讚
 06 78-09 とう宮の御けんふく春宮御元服讚
 06 78-09 たゝいまのことたゝ今麦阿
 06 78-09 なりぬるをとなりぬるを陽

06 78-10 思ふ給へ思ひ讚を思ふ給陽思給へ麦
 阿
 06 78-10 かうかく讚保麦阿
 06 78-11 をひすきぬれをひすかひぬれ讚陽保麦
 阿
 06 78-11 給へらんに給へはらんに麦
 06 78-11 ましてまいて麦阿
 06 78-12 いゑ家いゑ陽
 06 78-12 やむやつやむ事やつ讚
 06 78-13 こおとのおもひ給てこおとのおもひ
 讚こをとのたまひて保
 06 78-13 女御の女御にと陽
 06 78-13 御ことをもナシ陽御ことも保さぶらふ事
 を麦阿
 06 78-13 ゐたちたちぬ讚思ひたち陽保
 06 78-13 ものをものをと讚
 06 78-14 かくかう讚陽さりとかかく保
 06 78-14 御ことにてそ御事にそ讚麦阿
 06 78-14 おほきおとゝもおほきをゝをも陽保おと
 ゝをも麦阿
 06 79-01 たまへる給つる阿
 06 79-01 御さまの御さま讚
 06 79-01 いといと陽いとかくノ上カラいとヲ書
 ク保
 06 79-01 きひはにきひわ本卜傍記讚
 06 79-01 うつくしてうつくして保麦阿
 06 79-02 さつこの御こと生の御ことを讚ちやうの御こ
 と保
 06 79-02 ひき給をひき給陽保

06 79 02 さかり さかりは 讚保 かゝり陽
 06 79 02 などの ナシ 讚 など保
 06 79 02 なまめかしきを なまめかしき 讚
 06 79 03 まもり まほり 讚陽
 06 79 03 給へは 給へ 讚
 06 79 03 すこしそはみ うちそはみ 讚 すこしそは
 陽
 06 79 04 うつくしけにて とりゆのてつき ナシ 陽
 06 79 04 とりゆのてつき とりゆのてつき ゆ二本ト傍
 記 讚 ゆのてつき 保
 06 79 04 するを するに 陽
 06 79 04 かぎりなく かぎり無保
 06 79 05 おほしたり おもほしたり 阿
 06 79 05 などとも 讚陽
 06 79 05 ひきすさひ ひきすさみ 讚 すこしすさみ
 保 すこしひきすさみ 麦 阿
 06 79 05 おしやりをしすさみ 讚
 06 79 05 給つ 給つ 麦 阿
 06 79 05 おとゝ おとゝの 讚
 06 79 06 ひきよせ かきよせ 陽
 06 79 06 りちの りつに 讚
 06 79 06 しらへの しらへ 陽
 06 79 06 いまめきたるを いまめかしきを 讚 今めきた
 麦 阿
 06 79 06 さる ナシ 陽
 06 79 06 みたれて みたれ 讚
 06 79 07 給へる 給へり 麦
 06 79 07 おまへ 御まへ 陽

06 79 08 などなみたを おとしつゝ 讚 などなみた
 をとしつゝ 陽 保
 06 79 08 御木丁 みき丁 陽
 06 79 08 風のちからけたしすくなし 風心さすひきけ
 讚 風の心さすらひきて 陽 保
 06 79 09 すくなし よはし 麦 阿
 06 79 09 うちすし うちすし 讚 保 うちすへし
 陽
 06 79 09 琴のかむ ぎんのか 羨 陽 保 秋 麦 阿
 06 79 09 ならねと ならねとも 麦 阿
 06 79 09 あやしくも あはれなる あやしつもの あは
 れなる 讚 あやしくなを もの あはれなる 陽 あ
 やしくも 哀なる 麦 阿 あやしくも あやしきく
 も 麦 阿
 06 79 09 夕かな 猶 夕かな ななかな 陽 ゆふへかな
 猶 保
 06 79 09 あそはさんやとて あそはんやと 讚 あそはは
 さんやとて 麦
 06 79 10 秋風楽に 秋風楽を 讚 陽 秋風楽 保
 06 79 10 さうか しやうか 讚 保
 06 79 11 みな 宮保 麦 ナシ 阿
 06 79 11 おとゝを も おも 讚 をとゝも 陽
 06 79 11 いと ナシ 讚 保
 06 79 11 給に 給 陽
 06 79 11 とにやとかにや 陽
 06 79 12 冠者の君 火さの君 讚 くわさの君 陽 保 麦
 阿
 06 79 12 こなたにとて こなたにて 讚
 06 79 12 御木丁 み木丁 保

06 79 12 へたてゝ ひきへたてゝ 保
 06 79 12 たてまつり 給へり たてまつり 給 讚 保 奉り
 阿
 06 79 13 たいめむも たいめんを 陽 たいめも 麦
 阿
 06 79 13 えたまはらぬ え給はぬ 讚
 06 79 13 かななど かなと 讚 かなこと 麦
 06 79 13 御かくもんの 御かくもんを 陽 保
 06 79 13 あなかちならん あなかちには したまふらん
 讚 陽 保
 06 79 14 ほとより 程の 陽 ほとに 麦 阿
 06 79 14 あまり すきぬるも あまりぬるも 讚 陽 保 麦
 阿
 06 79 14 わさと わさをと 讚
 06 79 14 おほししれる みなおほししれる 讚 陽 保
 06 80 01 かく かう 陽
 06 80 01 きこえ 給 聞え 給 も 麦 阿
 06 80 01 思たまへ ながら 思ひきこえ ながら 讚 思ひた
 まへ ながら 陽 おもひ 給 ながら 保
 阿
 06 80 01 かうこもり かくこもり 讚 保 かうしも 麦
 06 80 02 ことなむ 事をなん 保
 06 80 02 侍と 侍など 讚 陽 保 はつかへる など 保
 06 80 02 し給へし 給へとて 陽
 06 80 02 ねにも ねに 讚 ぬに 陽 保
 06 80 03 わかう わかく 讚 陽 保
 06 80 03 おかしけなる うつくしけなる 讚 陽
 06 80 04 おもしろければ をもしろけなれば 讚

06 80 04 御ことゝもをは 御ことゝもは保 御ことゝも
 をは阿
 06 80 04 しばし ナシ讚
 06 80 04 とゝめてとめて陽 やめて保
 06 80 05 はうし又しやくひやうし讚 しやくひやうし
 陽保
 06 80 05 おとろノしからす をとろかしからす陽
 保おとろノからす阿
 06 80 05 うちならし うちなかし阿
 06 80 05 など ナシ讚
 06 80 05 大殿もかやうの御あそひに心とゝめ給て お
 ほとのもかやうの御あそひに心とゝめ陽
 06 80 06 心とゝめ給て 御心しみて讚 保心とゝめ給て
 陽
 06 80 06 御まつりことさくり事く二本ト傍記讚 ま
 つりこと保
 06 80 06 のかれ給なりけり 心とめのかれたまひふ
 成けりてノ上カラ成ヲ書ク陽
 06 80 07 心の心のかきり讚陽
 06 80 07 すくし すこし讚
 06 80 07 侍なまほしけれ 侍まほしけれ陽 侍なまほ
 しけれ保
 06 80 08 の給て きこえ給て保
 06 80 08 御かはらけ おほんかはらけ陽
 06 80 08 まいり給に まいり給讚陽
 06 80 08 くちうくちく保
 06 80 08 御となふら 御となあふら讚陽保 御となあ
 くら保 おほとなふら麦阿
 06 80 09 姫君は ひめ君麦阿

06 80 09 たてまつり給つきこえ給へ讚 たまひつ
 保
 06 80 10 給ひ 給讚麦 ナシ阿
 06 80 10 ねはかりをも ねはかりをたに讚 保 ねをたに
 陽
 06 80 10 へたて へたて 麦
 06 80 11 世なるこそ よなるを麦阿
 06 80 11 ちかう ちかく 讚保
 06 80 12 ねひ人も ねひ人もは讚陽 ねひ人も
 も保
 06 80 12 給ぬる 給陽
 06 80 13 ものゝたまふとて 物の給とて麦
 06 80 13 たち たちとまり保
 06 80 13 給へりけるを 給へりけるか讚保
 06 80 14 あやしうあやく保
 06 81 01 かしこかり かしこまり讚
 06 81 01 おや 御をや讚陽保
 06 81 01 おれたるをれたる 本ト傍記讚 なれたる
 阿
 06 81 02 する するは讚陽保
 06 81 02 そら事 ひか事讚
 06 81 02 そつきしろふあさましくもあるかな ナシ
 讚
 06 81 02 つきしろふ つきしろふや保
 06 81 02 ある ありける陽
 06 81 02 ことには ことにても讚
 06 81 03 あらねとあらねと 麦
 06 81 03 世はうき物にも よいそくへきものにも
 讚

06 81 04 かなものかな讚
 06 81 04 心え給へと 所(心)え給へと保
 06 81 04 御さきをふ 御さきの讚
 06 81 05 いかめしきにそ いかめしきに阿
 06 81 05 いつれの いつれもの陽 いつこの麦阿
 06 81 05 くまに くまにか保
 06 81 06 あたけこそと 御あたけ心と讚 御あたけこそ
 と陽麦阿 御あたけこそなと保
 06 81 06 人ノは 人ノ保
 06 81 06 かうはしき かうはしき陽
 06 81 07 かの にほひの讚陽保
 06 81 07 うちそよめきいてつるは火さの君の ナシ
 讚
 06 81 07 火さの君くわさの君陽保麦阿
 06 81 07 おはしつるとこそ思ひつれを はしつると
 とこそおもひつれ讚麦阿を はしつると
 そ思ひつる陽を はしつるとそ思ひつると
 上カラすヲ書ク保
 06 81 07 あな あな もノ上カラあヲ書クカ保
 06 81 08 ほのきこしめしつらん ほのきこえ給へらん
 讚 ほのきこしめしつらん陽保 きこしめしつらん
 麦 ほのきこしつらん阿
 06 81 09 おほすに おほすか麦 おほする阿
 06 81 09 いとと 讚 ナシ保
 06 81 09 くちおしくあしきくちをしき 讚 くちを
 しくあしき陽
 06 81 09 めつらしけなき めつらしなき阿
 06 81 10 世人 世の人讚
 06 81 10 こと ことを讚事と保

06 81 10 おとゝのはゝの讚 おとゝも保
 06 81 10 しめて女御を 女御をしめて保 八もノ上カラ
 をヲ書ク「讚陽保
 06 81 10 トヲ「しつめをよしくつゝめ保おしつし
 つめ阿
 06 81 11 わくらはに「このきみをたに保 此君をたにわ
 くらにはに麦阿
 06 81 11 ねたくも ねたつも陽
 06 81 11 殿の 此麦阿
 06 81 12 御なかのおほかたには 御中のおほかたにては
 讚保 御中のおほかたにて陽 御中麦阿
 06 81 12 よくよつ陽
 06 81 13 給ひし 給つし陽
 06 81 13 なこりも なこり讚
 06 81 13 心うければ いとこゝろうければ保
 06 81 14 大宮をも 大宮も讚保麦阿
 06 81 14 さやうのおほやうの陽
 06 81 14 けしきには けしき讚 けしきは陽保麦
 阿
 06 81 14 かなしく かなしう 讚陽麦阿
 06 81 14 御むまこ 御まこ 讚保 むすこ 麦 むまこ
 阿
 06 82 01 ならんと ならん保
 06 82 01 けしきを けしきは讚 けしきも保
 06 82 01 ねたしめさましつねたし 讚陽 めさましつ
 たれたし保 あさましつねたし 麦阿
 06 82 01 おほす おもほす 麦阿
 06 82 02 御心うこきてすこしをよしくあさやきたるナ
 シ陽

06 82 02 御心うこきて ナシ 讚保
 06 82 02 すこし ナシ 麦阿
 06 82 02 をよしくをよしう 讚 麦阿 をよしくおよしく
 保
 06 82 02 御心には 御こゝろにて 讚 御心陽
 06 82 02 しつめかたし しつめかたくおほいて 讚 いと
 しつめかたし陽保
 06 82 03 ときをり 讚 麦阿
 06 82 03 大宮も 大宮は保
 06 82 03 いと ナシ 讚保
 06 82 04 おほあたり おほしたり 讚陽保
 06 82 04 御あまひたい 御あまひたいの阿
 06 82 04 ひきつくるひ ひきつくるいて 讚保 麦阿
 06 82 04 たてまつりそへて たてまつりかへて 讚陽
 保
 06 82 05 こながら 御こながら 保
 06 82 05 御人さま 人から 讚 人さま 陽保 御さま 麦
 阿
 06 82 05 まおまほ 讚 麦阿
 06 82 06 あしくて あしうて 保 麦阿
 06 82 06 さふらふも 侍も陽
 06 82 06 はしたなく はしたなくて 讚
 06 82 06 いかにかゝ 陽 麦阿
 06 82 07 身に 身には 讚 事に陽
 06 82 07 かきり かきりは 麦阿
 06 82 08 おほつか なき あしたゆふへも おほつか なき
 保
 06 82 08 なく なくて 讚陽保

06 82 08 思ひ給ふれ 思給れ 讚 思たまふれ 保 思給
 へれ 麦阿
 06 82 08 よからぬものゝうへにて なをよからぬもの
 へつ象にて なん保
 06 82 09 うちめしと うちめしく 陽保
 06 82 09 きこえさせつへき 聞えさせへき 麦
 06 82 09 かうも かくも 讚保
 06 82 09 思ふ給へし 思ひたまへし 讚陽 思給へし
 麦し給へし 阿
 06 82 10 おもひ給れと 給れと 讚 思ひ給ふれと
 陽 思たまふれと 保 思給れと 麦 思給へれ
 と 阿
 06 82 10 しつめかたく しつめかたう 陽 えしつめかた
 く 麦阿
 06 82 10 おほえ侍て なんと おほえ侍て なんと 讚 思ひ給
 えて なんと 陽 思侍て なんと 保
 06 82 10 涙 ナシ 讚
 06 82 10 をしのこひ 給に をしのこひ 給ふ ねてノ上カ
 う 給ヲ書ク「陽 おしのこひの 給に 麦阿
 06 82 11 給える 給つる 讚
 06 82 11 御めも めも 陽
 06 82 12 いまさらの 今さらなる 麦阿
 06 82 12 心をきて 御こゝろをきて 陽
 06 82 12 おほさる おほす 讚
 06 82 12 給も 給ふに 陽
 06 82 13 いたおしけれと いとをしければ 讚
 06 82 13 たのもしき かしこき 保
 06 82 14 中ノナシ 讚
 06 82 14 みたまへも つかす みたまひも つかす なんとし

て讚保 みたろま×もつかすなとして陽
 06 82 14 まつめにちかきかめにちかき讚麦阿
 06 82 14 などなどの麦阿
 06 83 01 みたまえなけき み給なけき讚保
 06 83 01 いとなみつゝ ナシ讚
 06 83 01 さりとともさりとん保
 06 83 01 なさせ給てん 見なしてむ麦阿
 06 83 02 侍つるには入るに讚保
 06 83 02 ことの ナシ讚
 06 83 02 侍ければ 侍めれば阿
 06 83 02 ちをしうくちをしく 讚陽保
 06 83 03 あめのした あめかしたに麦阿
 06 83 03 いうそくには ゆふそくには麦阿
 06 83 03 かゝるは人のきゝおもふところも あはつけき
 やうに ナシ麦阿
 06 83 03 かゝる かゝる 事陽保
 06 83 04 人のきゝおもふところも ひときゝも 陽人の
 きゝおもはむ所も保
 06 83 04 あはつけき あつへき 讚
 06 83 04 なにはかり いかはかり 麦阿
 06 83 04 のほとに ナシ保
 06 83 05 侍るを ゑりはへるなるとか 讚 しし侍を
 「後補力」保
 06 83 05 かの ナシ讚
 06 83 05 御ためにも 御ためも保
 06 83 06 きら／＼しうきら／＼しく 保
 06 83 06 あたり わたり 讚
 06 83 07 ゆかりむつひ ゆかりむつひは 麦阿
 06 83 07 さまにて さまに 讚陽保

06 83 07 おとゝも おとゝ 讚 ナシ陽
 06 83 07 ところ 事 讚陽保
 06 83 07 さるにても さるに 毛 八てトハヨミカタ
 イ「麦
 06 83 08 なんと なん 讚 保 麦阿
 06 83 08 しらせ きかせ 讚
 06 83 08 給て 給つて 陽
 06 83 08 ことさらに さらに 讚陽保 麦阿
 06 83 08 ゆかしけある 侍かしける 讚
 06 83 09 侍らめ 侍めと 讚
 06 83 09 おさなき(なま)さなき 陽
 06 83 09 心に(心)に 陽
 06 83 10 思ふ給ふなと 思たまふると 讚保 思ひ給ふる
 にと 陽 思給へると 麦 思給ると 阿
 06 83 10 きこえ給に きこえたるに 陽 聞給に 阿
 06 83 10 しり給はぬ しらぬ 麦阿
 06 83 10 あさましう あさましう 陽 あさましく
 保
 06 83 10 おほして おほえて 讚 麦阿 おほして 陽
 06 83 11 かつかく 讚保
 06 83 11 の給もの 給 麦阿
 06 83 11 かけても かくけても 保
 06 83 11 したの心 したの御心を 讚 したの心を 陽
 保
 06 83 11 侍らさりける 給はさりける 保 侍らさりける
 を 麦阿
 06 83 12 ことは ことには 讚
 06 83 12 まして まいて 陽 麦阿(ま)いて 陽

06 83 12 侍れ 侍けれ 麦阿
 06 83 13 つみをつみ 讚保
 06 83 13 おほせ おふせ 阿
 06 83 13 給は 給 讚
 06 83 14 そこに そこにも 保
 06 83 14 おほしいたらぬ おもほしいたらぬ 保
 06 83 14 もてなさむ もてなさへ 麦
 06 84 01 程 人 讚
 06 84 01 まとひて まとひ侍て 讚陽保(ま)ま(と)ひ侍て
 陽
 06 84 01 ものせんとは ものせんと 讚物(と)せんとは
 陽
 06 84 01 おもひよらぬ おもひもよらぬ 讚
 06 84 02 ことは 事を 毛 讚(と)も 陽保
 06 84 02 よからぬ ナシ 讚
 06 84 02 つきて つきて 「なんノ上カラ つきヲ書ク」
 讚
 06 84 03 ことにて 事に 讚
 06 84 03 けかれん けかさん 麦阿
 06 84 04 事にか 事は 麦阿
 06 84 05 わらふ わろつ 陽
 06 84 05 ものを ものをは 讚保(を) 陽(は) 麦阿
 06 84 05 いと ナシ 保
 06 84 05 思ふたまへらるゝ 思ひたまへらる 讚保 思ひ
 たまへ おもふたまへ 保(と) 思たまへらるゝ 陽
 阿 思給へしるゝ 麦
 06 84 06 とち 人 讚陽保 麦阿
 06 84 06 いみしう いみしく 保 麦阿
 06 84 06 いとおしくいとをしう 讚陽

06 84 06 おもふ ナシ 讚
 06 84 06 人ノ人 讚
 06 84 07 まして心ちもたかひてなにゝかゝる ナシ
 讚
 06 84 07 ましてまひて陽 麦 阿
 06 84 07 たかひてたかいて 陽
 06 84 07 思なけき なけき 麦 阿
 06 84 08 なに心もなくて なに心なくて 讚 麦 阿
 06 84 09 御さま 御まみ 讚 御わさ 阿
 06 84 09 あはれに あはれにくちをしう 讚 保くちをし
 うくちをしく 保くちをしあはれに口惜 陽
 06 84 09 人と 人とは 讚
 06 84 09 心おさなく 心をさなくも 保
 06 84 10 いらていとかく 人なみノに 思ける ナシ
 讚
 06 84 10 いらてしめて 麦 阿
 06 84 10 いとかく いかて 陽 保
 06 84 10 人なみノに ひとなみノに と 陽 保 人なみ
 にと 阿
 06 84 10 我こそ けに我こそ 讚
 06 84 10 まさりて まさりては 讚 さまひりて 陽
 06 84 10 はかなかりけれ はかなけれ 麦 阿
 06 84 10 御めのとゝもを 御めのとゝもを 陽
 06 84 11 たまふに の給に 讚 陽
 06 84 12 御いつきむすめも いつきむすめも 讚 御いつ
 きむすめも 麦
 06 84 12 あめれと あめれとん 保
 06 84 13 しりつたふる しりつゝふる 阿
 06 84 13 ひまにて ひまに 讚 保

06 84 13 こそこそは 保
 06 84 13 これはこれに 讚
 06 84 14 なにかはなにかは(は) 陽
 06 84 14 宮の 宮 讚
 06 84 01 よりより 陽
 06 85 01 さしすくしても さきすくしても 讚 さしすく
 しても 保 さしすくしも 阿
 06 85 01 へたて へたち 讚
 06 85 01 すくしすく 桑本卜傍記 讚 すくし 陽 保
 06 85 01 おととし ことし 陽 麦 阿
 06 85 02 はかり ナシ 麦 阿
 06 85 02 なりにて なりきて 讚 保 なりて 陽
 06 85 02 侍めるに 侍めるを 讚 侍に 陽 麦 阿
 06 85 03 うちまきはみうちさはみ 讚 陽 保 うちま
 きれけしきはみ 麦 阿
 06 85 03 よつきたる みつきたる 阿
 06 85 03 夢に 夢にも 陽 麦 阿
 06 85 04 おはしまさゝめれは おはしまさめれは 麦
 阿
 06 85 04 よし ナシ 讚 ならんかし 麦 阿
 06 85 05 心を 心を 讚
 06 85 06 いま(今)いま(陽)
 06 85 06 かしこに やかてかしこに 麦 阿
 06 85 06 たてまつりてん たてまつらん 讚
 06 85 06 づらきなり づらう 思なり 讚
 06 85 07 さりととも さりとん 保
 06 85 07 いかゝれとしも いかゝれとは 讚 いか
 られとはしも 麦 いかゝれとはしも 阿

06 85 07 おもはれさりけん 思はさりけん 讚 おほされ
 さりけん 陽 保 思はさりつらん 麦 阿
 06 85 07 いと おしきとをしき 麦
 06 85 07 なかにも 中にも 讚 保 麦 阿 なかに 陽
 06 85 08 うれしくうれしう 陽
 06 85 08 大納言殿に 大納言殿 讚
 06 85 08 きゝ給はん きゝ給陽 のたまはむ 保
 06 85 08 思ひ侍れは 思へはいつしかすくれ給御さま
 にこそ念し 思ふ給れ 讚 思ひ給ふれはいつ
 しかすくれたるさまにとこそ思ひたまへん
 し 陽 おもふたまふれはいつしかすくれたる
 さまにとこそ念し おもふたまふれ 保
 06 85 09 めてたきにて めてたきにも 陽
 06 85 09 すちはすちには 讚 陽 保
 06 85 09 めつらしさ めつらしひ 讚 陽 保 めつらしき 麦
 阿
 06 85 09 思ひたまへかけん 思給へからむ 讚 麦 おもふ
 給へかけむ 保 思給へらん 阿
 06 85 10 姫君は ひめ君 讚 麦 阿
 06 85 10 御さま さま 讚 保
 06 85 10 申給へとも 申たまふとも 讚 保とも とん 保
 申給も 陽 申給へとも 阿
 06 85 10 あるへきにも あるへきに も 陽
 06 85 11 給て たまひて(て) 保
 06 85 11 いかにしてか いかにして 保 麦 阿
 06 85 11 なり 給ましき なしたてまつらぬ 保
 06 85 11 わさは わさを 陽 わさ 麦 阿
 06 85 11 すへからんと すへからむなと 讚 陽 保
 06 85 12 しのひて ナシ 保

06 85 12 のみそのみ讚陽保麦阿
 06 85 12 うらみナシ讚
 06 85 12 いとノおしいとをし讚麦阿
 06 85 13 なかにも中にも讚保麦阿
 06 85 13 御かなしさは御かなしさは陽
 06 85 13 給にや給へるにや讚陽保
 06 85 14 心御心讚
 06 85 14 おほさるゝにおほさるゝ麦
 06 85 14 おほしおもひ讚陽保
 06 86 01 のたまへるのたまひぬる保
 06 86 01 いたういたく讚
 06 86 01 こととも保
 06 86 02 かしつかんともかしつかむとん保
 06 86 02 おほしたゝさりしおほしたまうさりし讚お
 ほしたらさりし保麦阿
 06 86 02 わか我讚保われ陽
 06 86 02 もてなしもて麦
 06 86 02 春宮の御ことをも宮の女御も讚春宮の御こ
 とも陽保
 06 86 03 おほしかけたためれおほしかけたためれと讚お
 ほしかくるにあめれ保
 06 86 04 まさるへきま(ま)さるへき陽
 06 86 04 ありさま有様麦
 06 86 04 人の人たに讚保
 06 86 04 あるへき有き麦
 06 86 05 きはにもきはに麦阿
 06 86 05 心さし御心保
 06 86 06 うらめしううらめしと讚うらめしく保麦
 阿

06 86 06 御心のうち御心中麦阿
 06 86 06 たてまつりたらは奉らましかは麦阿
 06 86 06 ましてまいて麦阿
 06 86 07 うらみうとみ讚
 06 86 07 さはかるさはく麦阿
 06 86 07 しらてしり給はて讚陽保
 06 86 07 くわさの君火さの君讚
 06 86 08 一夜一日保
 06 86 08 人め人も讚
 06 86 08 しけうてしけて讚陽保
 06 86 08 ことをも事も陽
 06 86 08 えきこえすきこえさせす讚きこえす
 陽
 06 86 09 給ければたまひければふれノ上カラひけ
 れヲ書ク保
 06 86 09 れいはれいはの麦
 06 86 09 せひしらすいひしらす讚陽麦阿
 06 86 10 物かたりなと御物語麦阿
 06 86 10 よりよりなん麦阿
 06 86 11 えんしてゑして保
 06 86 11 給にしかはいとなんいとおしき給しかはい
 とをしく麦阿
 06 86 12 人に人も讚保麦阿
 06 86 12 ものおもはせものををもはせ讚物思せさせ
 麦阿
 06 86 12 給つへきかたまひはへかむめるか讚給へか
 めるか陽保給へきか麦阿
 06 86 12 ことナシ保麦阿
 06 86 12 かうもかくは讚かう陽

06 86 13 思へと思へは陽
 06 86 13 さるナシ麦
 06 86 13 しり給はてしり給はててノ上カラ給ヲ書ク
 陽
 06 86 13 なんとと陽保
 06 86 13 心にころにし保
 06 86 13 かゝれるかゝる讚麦
 06 86 14 ふとぎと讚
 06 87 01 侍にし侍し讚保
 06 87 01 ともかくももかくも陽
 06 87 01 なければなく侍れば麦阿
 06 87 01 うちらみ給へきうちらみ給讚
 06 87 01 こと事は讚ことも保麦阿
 06 87 01 侍らし侍らす陽
 06 87 02 なんナシ讚麦阿
 06 87 02 思たまふる思給るを讚おもふたまふる
 保思給る阿
 06 87 02 けしきをけしきをを讚
 06 87 03 いまより今いま(ま)より陽
 06 87 03 とはかりにてとて讚
 06 87 03 給ふつ給へ讚給ひつ保給つ麦阿
 06 87 04 ものまいりなともの詣なと陽ものまいり
 など保
 06 87 04 なともなど保などの麦阿
 06 87 04 かよはんかよふ讚
 06 87 04 ことのかたきなめりこともかたかるへきな
 めり保
 06 87 04 思ふにナシ麦阿
 06 87 04 なけかしうなけかし讚陽保麦阿

06 87 05 し給へとし給へと麦阿
 06 87 05 ねたまひぬるね給ぬ阿
 06 87 05 空にてそらにて讚
 06 87 06 なかさうし中しやうし讚中のさうし麦
 阿
 06 87 06 ひけとひきつれと保
 06 87 06 れいはれいははノ上カライヲ書ク麦
 06 87 06 ことにナシ麦阿
 06 87 06 をとおとなと讚
 06 87 07 さうししやうし讚保
 06 87 07 るたまへるに給へり麦阿
 06 87 07 めをめ保
 06 87 08 うちそよめくにうすそよめく保う
 ちそよめくに麦
 06 87 08 なきわたるなきてわたる陽
 06 87 08 こゑのほのかにこゑも讚こゑのほの
 陽
 06 87 09 おさなき心ちをさな心ちにノ上カラチヲ書
 ク陽
 06 87 10 わかうわかク讚保
 06 87 11 あけさせ給へあけ給へ讚
 06 87 11 小侍従こしうの君保
 06 87 11 さふらふさふらひ給讚保 ナシ麦阿
 06 87 11 の給へとをともせずきのたまふは保
 06 87 11 御めのとこ御めのと麦阿
 06 87 12 給けるも給けるを保
 06 87 12 はつかしうてはつかしう陽
 06 87 12 御かほも御かほをしも保
 06 87 12 あはれはナシ麦阿

06 87 13 にくきやにくきぞや阿
 06 87 13 めのたちめのとたち陽
 06 87 13 ちかくまちかく讚
 06 87 14 をともせずをとんせず保
 06 88 01 身に身にも讚陽保麦阿
 06 88 02 おもひつゝけて思つゝけ麦阿
 06 88 02 おまへ御方讚御まへ陽麦
 06 88 02 なけきかちなるもなけきかちなるを讚
 06 88 02 御めさめてやもし御めさめてや讚保トモ
 しき御めさめてや陽
 06 88 03 給らんたまふ讚
 06 88 03 つましくつましくて讚
 06 88 03 物はつかしうてものはつかしくて讚陽麦
 阿
 06 88 03 わか御かた我かた讚御かた阿
 06 88 04 かき給へれとかきてもち給へれと保かき給
 ても麦阿
 06 88 04 こしうもこしうにも陽保麦阿
 06 88 04 えあい給はずあひ給はず麦阿
 06 88 05 えいかすむねつふれてえいかて御むねいた
 く保
 06 88 05 おほえ給おほえ給讚おほえ給保
 06 88 05 女はた女はたゝ讚陽保
 06 88 05 給し給うし陽
 06 88 05 ことナシ麦阿
 06 88 05 はつかしうてはつかしうをほえ給て讚はつ
 かくて陽
 06 88 06 我身やわか御みの麦阿
 06 88 06 あらむナシ陽

06 88 06 いかおもはんともいかおもはん讚いか
 思はむなと陽保思はんとも麦阿
 06 88 06 ふかくふかくしも讚陽保
 06 88 06 おほしいれすおもほしいれす麦阿
 06 88 07 思はなれ思ひはなち讚陽保思はれ麦思い
 れ阿
 06 88 07 給はさりけりたまはさりけれと保
 06 88 07 かつかく保
 06 88 08 さはかるへきこともナシ麦阿
 06 88 08 おほさうりけるおほされさりける保
 06 88 08 御つしるみとも御つしるみとも讚御つ
 るみとも陽
 06 88 09 えこともうたえことも保
 06 88 09 つくりいつらむつくりいつへからん麦
 阿
 06 88 10 いますこしすこし阿
 06 88 10 物はかなき物はかなき保
 06 88 11 思ふおもひありきたまふ保思給麦阿
 06 88 11 つらしとつらしと「うノ上カラシヲ書ク」
 陽
 06 88 11 北の方にはかゝる事北方にはゝかること保
 06 88 12 なんとととと保麦阿
 06 88 12 たてまつりナシ讚 たてまつり陽
 06 88 12 給はず給はて保
 06 88 12 おほかたおほかたも讚おほかたに保
 06 88 12 いとナシ讚保
 06 88 12 むつかしき物むつかしき保
 06 88 13 よそおひよそのおち保

06 88 13 まいり給へるに まいり給に讚 まいりめ給つ
らん保
06 88 13 世中 世中を讚
06 88 14 ものし給を ものし給こそ保
06 88 14 むねいたきに むねいたけれ保
06 88 14 まかてさせ までさせ麦
06 88 14 心やすく 心やすくて陽
06 89 01 うへに 上の麦阿
06 89 01 給て 給陽
06 89 02 心ゆるめせず 心ゆるひせず 讚陽 ころゆる
しせず保
06 89 02 くるしうのみ くるしとのみ 讚陽 ナシ
保
06 89 03 たてまつり ナシ麦阿
06 89 03 たまたまて 給て 讚陽 保麦阿
06 89 04 しぶ／＼に しぶ／＼おふし／＼に 直ス
保
06 89 04 おほしめしたるを おほしめされたるを
保
06 89 04 つれ／＼に つれ／＼と 讚
06 89 04 おほされん おほさるらん 麦阿
06 89 05 あつけ さて あつけ 讚保
06 89 06 さくしり さえしり 讚 さく(え)しり 保
06 89 06 たちまじりて まじりて 讚
06 89 06 けちかきも けちかきに 麦阿
06 89 07 ほとになり いたれば ほとなれば 讚 ほとに成
にけり 麦阿
06 89 07 なんと なんと 讚 保 麦阿
06 89 07 宮 宮は 保 麦阿

06 89 07 いと ナシ 保
06 89 07 あへなし あひなし 讚 麦阿
06 89 08 おほして おほしめして 保 おもほして 麦
阿
06 89 08 女なくなり 女君のなくなり 讚 をんなしくな
り 陽 むすめなくなり 麦阿
06 89 08 のちのちは 讚
06 89 09 うれしう うれしく 陽 保
06 89 09 かしつきもの と かしつき物に 讚 陽 保
06 89 09 思ひて 思ひたて まつりて 讚 おほして
保
06 89 10 おいのむつかしさを いむ(ム)つかしさを
「なノ上カヲむヲ書ク」讚
06 89 10 なくさめんと なくさめに 讚
06 89 11 なんと なんと 讚
06 89 11 うちかしまりて うちこしまりて 麦
06 89 12 おもふたまへらるゝ事は 思ひ給らるゝ事を
讚 思たまへらるゝ事は 陽 おもひ給へらるゝ
ことを 保 思給へしらるゝ事は 麦阿
06 89 12 なん なんと 讚
06 89 12 おもふたまへらるゝとは かり おほえ侍とは
かり 讚 思ひ給らるゝとは かり 陽 思給ふると
は かり 麦阿
06 89 12 きこえさせしになむ きこえしになん 保 聞え
させ侍しかと 麦阿
06 89 13 へたて ナシ 讚 陽 保
06 89 13 思たまふる 思給へる 讚 思ひたまふる 陽 う
らみきこえさする 保 思給る 麦 思ひ給る
阿

06 89 13 いかてか いかゝ 讚 いかて 麦阿
06 89 13 さふらふか さふらか 麦
06 89 14 まかてゝ 侍るに まかて 侍 讚
06 89 14 おもひてくし侍れば 思ひくんし侍は 讚 思ひ
くし侍れば 陽 保 くしくむし 保
06 89 14 心くるしう ころくるしう 保
06 90 01 み給ふるを み給を 讚 み給るを 麦阿
06 90 01 して 麦阿
06 90 01 なくさめよと なくさめよ 阿
06 90 01 おもふたまへてなむ 思ひ給て 讚 保 思ひ給て
なん 陽 麦阿 思ひ給て 思給て 麦阿
06 90 02 とて かくまで 讚 陽 保 かく 陽 とて な
ん 阿
06 90 02 なさせ なさせ(さ) 麦
06 90 02 思ひ ナシ 阿
06 90 03 かう かく 讚 保
06 90 03 おほし おもほし 麦阿
06 90 03 とゝめきこえさせ とゝめきこえ 讚 陽 保
06 90 04 ちおしう 口 惜 陽 ちをしく 保
06 90 04 こそ こそは 麦阿
06 90 04 うきものは 心うきものには 讚 心うきものは
陽 保 うき物には 麦阿
06 90 05 とかく かく 讚 保 麦阿
06 90 05 我に へたてゝ 我を へたて 麦阿
06 90 06 こそ こそは 保
06 90 06 心を 心 保
06 90 06 ぶかう ぶかく 讚 保
06 90 06 しいり 給なから しいり となし ながら 讚 陽 しいり な
から 保

06 90 06 われを 我は讚
 06 90 06 えんして えんし陽 えして保
 06 90 07 わたしたまふ わたしなとし給陽
 06 90 07 かしこにて かしこにても讚
 06 90 07 あらしとうちなきつゝの給おりしも あらし
 とうちなきつゝの給をりしも 陽
 06 90 07 あらしあらしかし給保
 06 90 07 うちなきつゝうちなきて保
 06 90 08 くわさの君 火さの君 讚くはさすの君
 麦
 06 90 08 このころは(こ)の(こ)は陽
 06 90 09 しけうしけく讚保
 06 90 09 けりナシ讚麦阿
 06 90 09 内のおとゝおとゝ麦 内のおとゝ阿
 06 90 09 御くるまの 御くるま讚
 06 90 09 はしたなくて いとはしたなくて 讚 はした
 なくて陽
 06 90 10 いらぬ いら保麦阿
 06 90 10 給へり給へり陽
 06 90 10 内の大とのゝ内のおとゝの讚 麦 内のおほい
 とのゝ陽 保 内のおとゝ阿
 06 90 10 きんたち 君たち 讚 麦阿 きみたち 保
 06 90 10 左少将 左近少将 讚 陽 保 左近の少将 保 右少
 将 麦阿
 06 90 11 少納言 ナシ 讚
 06 90 11 兵衛佐侍 徒たいふしゝ兵衛佐大夫の君 讚
 陽 保 (大夫の君 大輔 夫)の君 陽
 06 90 11 いふも いふは 麦阿
 06 90 11 こゝには こゝに 讚 保 麦阿

06 90 11 つとひたれと 給たれと 麦阿
 06 90 11 みすのうち みすのなか 中(中)ニ「ウチ」ト
 傍記 陽
 06 90 12 左兵衛督 さゑもんのかみ 讚 保 麦阿 左衛門
 陽 左衛門 督 麦阿
 06 90 12 なとも など 讚
 06 90 13 まゝにまゝ(ま)に陽
 06 90 13 まいり ナシ 讚
 06 90 13 なれは なり 讚
 06 90 13 御こともゝ 御ことも 讚
 06 90 14 君に 君 讚
 06 90 14 にほひなく にほなく 讚
 06 90 14 なすらひなく なすらぬひなく 讚 なすらふ
 なく 保
 06 90 01 おほしたるを おもほしたるを 麦阿
 06 90 01 ひめ君を そひめ君をこそ 讚 君をそ 阿
 06 90 01 けちか けちか けちか 讚 保 麦阿
 06 90 01 ものとも のに 讚 陽 保
 06 90 02 さけす さらす 讚
 06 90 02 ものに かに 讚 保
 06 90 02 おほしたり つるを うちそへおほしたり つる
 を 讚 保 おほしたるを 麦阿
 06 90 02 かくて かく 陽
 06 90 02 給なんか 給ぬるは 讚 給ぬれば 陽 保
 06 90 03 さう／＼しき さう／＼しからん 讚 陽 保
 06 90 03 おほす おもほす 阿
 06 90 03 侍りて 給て 讚
 06 90 03 夕つかた 夕かた 陽 保

06 90 04 むかへ 御むかへ 讚 陽 保
 06 90 04 まいり 待らん まいらん 讚 保
 06 90 04 いふかひなき ゆふかひなき 保
 06 90 05 さて ナシ 讚
 06 90 05 あらましとおほせと 猶いと心やましければ あ
 らましとおほせとなをいといふかひなく心
 やましければ ければ 陽
 06 90 05 いといふかひなく 讚 保 いといふかひなく
 陽 ゆふかひなく 保 ナシ 麦阿
 06 90 05 心やましければ 心なやましければ 讚
 06 90 05 御程の 御ほとも 讚 保
 06 90 05 もの／＼しく 物／＼しう 讚
 06 90 06 なりなんになんに 讚
 06 90 06 かたはならすみなして かたはなくすみなし
 て 讚
 06 90 06 ふかさ ふかき 陽
 06 90 06 あさゝの あさゝ 讚
 06 90 06 おもむきをも おもむきを 讚 おもむき 陽 麦
 阿 をもむきも 保 おもむき 麦阿
 06 90 07 ゆるすとも ゆるすとも 保
 06 90 07 いさむとも いさむも 讚 いさむとも 保
 06 90 08 おさなきを となき 讚
 06 90 08 みくるしう みくるしく 保
 06 90 08 よも よに 讚 ナシ 麦阿
 06 90 09 せいし給 せいし給 陽 保 麦阿
 06 90 09 こと 事も 讚 麦阿
 06 90 09 御つれ／＼ つれ／＼ 讚 陽
 06 90 09 ことつけて こにもか こにもおいらかに ナ
 シ 麦阿

06 91 10 おいらかにを曳(いらかに保
 06 91 10 いひなししていひ なして陽いひなし麦
 阿
 06 91 10 わたしわたり讚わたし聞え麦阿
 06 91 10 宮の宮も陽
 06 91 10 御ふみにて御文に讚御文には陽
 06 91 10 こそナシ讚(こそ)陽
 06 91 11 したまはめ給はめ阿
 06 91 11 さりともさりとん保
 06 91 11 心さし心讚
 06 91 11 みえ給へみ給へ麦阿
 06 91 12 たまへれは給へは讚たまひつれば保
 06 91 13 みえ給へと見え給へは麦阿
 06 91 13 しめやかにナシ讚保
 06 91 14 たてまつらす給はず保
 06 91 14 あけくれのあけくれ讚陽保
 06 91 14 きこえつるを聞えたるを麦阿
 06 92 01 さうさうしくもつれ／＼にさうさしくも
 讚つれ／＼にさう／＼しくも陽保
 06 92 01 御ありさま御有様麦
 06 92 02 みはつましきこと／＼みはつましきことは
 讚
 06 92 02 いのちをいのちをのみ保命のほどを麦阿
 06 92 02 思ひつれ思くれ讚
 06 92 02 いま更に今いま(さら)に陽今又麦阿
 06 92 02 いつちならむいつくなるらん麦阿
 06 92 03 おもへはいとこそ思こそいと保思へはこそ
 麦思はこそ阿

06 92 03 あはれなれとて哀なれとて(ミセケチカ)
 麦
 06 92 03 なきうちなき保
 06 92 03 ひめ君はひめ君讚
 06 92 04 ことをおほせば事と麦阿
 06 92 04 給はて給はず讚麦阿
 06 92 04 御めのとめのと讚
 06 92 05 さい將の君さい將の君讚宰相麦阿
 06 92 05 たのみ思ひ讚陽保
 06 92 05 くちおしくくちをしつ讚陽
 06 92 05 かくかう陽
 06 92 05 わたらせ給ことわたらせ給事なし阿
 06 92 06 おほしなるおほなる讚
 06 92 06 おはしますともおはしますとも阿
 06 92 06 なひかせなけ(ひ)かせ保
 06 92 07 なとと讚陽麦阿
 06 92 07 さゝめきさためき阿
 06 92 08 いてよからぬ事をやと聞ゆれはいて麦
 阿
 06 92 08 むつかしきむつかし陽
 06 92 08 御すくせすくせ御すくせ／＼讚陽麦阿すく
 せ／＼保
 06 92 08 いとナシ讚
 06 92 08 さためかたくさためかたし讚陽保さためか
 たければ麦阿
 06 92 08 との給ふいてやナシ麦阿
 06 92 09 給に給にこそ麦阿
 06 92 09 侍めりかし侍めり讚侍めるかし麦阿
 06 92 09 さりともさりとん保

06 92 09 けにナシ保
 06 92 09 わか君我君や讚陽麦阿
 06 92 10 人ににや保
 06 92 10 きこえさせナシ保麦阿
 06 92 10 給給ける讚保
 06 92 10 きこしめしあはせよきこしめしあはせよ保
 06 92 10 なま心やましきま／＼になま心やましくて讚
 陽保やましくてやましくて陽
 06 92 10 いふナシ麦
 06 92 11 くわさの君火さの君讚くわさのきも保麦
 阿
 06 92 11 いらナシ保
 06 92 11 とかめむとかめ讚
 06 92 11 時に麦阿
 06 92 11 くるしかりけれくるしけれ麦くはしけれ
 阿
 06 92 12 心ほそくて心ほそく麦阿
 06 92 12 なみたなみたを陽
 06 92 13 心くるしう心くるしく保
 06 92 13 人のまよひほどのまよひ讚人のまかひ麦
 阿
 06 92 13 たいめむたいめ麦阿
 06 92 14 給へりたてまつり給へり讚たてまつりたり
 陽保奉る麦阿
 06 92 14 ものはつかしくものむつかしう讚さすかに
 ものはつかしう陽保はつかしうはつかしく
 保
 06 92 14 ものももの讚

06 92 14 いはていはては後補力_麦
 06 92 14 なき給ない給讚 なきたまふ保
 06 93 01 さはれさても讚 さは麦阿
 06 93 01 こひしうこひしく保
 06 93 01 おはせむこそわりなかるへけれをはせんと
 06 93 02 なとてなんとて保 ナシ阿
 06 93 02 よそこそ麦
 06 93 02 へたてへたえて保
 06 93 03 の給さまもきこえつるも保
 06 93 03 わかうわかく讚保
 06 93 03 あはれけなればあはれなりければ讚
 06 93 03 まるも丸も保
 06 93 03 あらめとの給 あらめとの給に陽
 06 93 03 恋しとは恋しと保
 06 93 04 うなつきうちうなつき陽保
 06 93 04 さまもナシ麦阿
 06 93 04 御となふら御とのあふら讚 御となあふら陽
 06 93 05 こちたくこちたう讚
 06 93 05 をひのしる御さきのこゑにをいのしり
 讚陽保
 06 93 05 そんやそんやき讚
 06 93 06 をちさはけはたちさはけは讚陽保
 06 93 06 おそろしとをそしりと陽をそろしく保
 06 93 06 さもをここはさも讚陽保されとも麦
 阿

06 93 06 さはかれはと御わかれはと麦阿はといと
 阿
 06 93 07 きこえナシ保
 06 93 08 宮宮の讚
 06 93 08 事には事にては讚
 06 93 08 づらくづらくて讚陽保
 06 93 09 よかな事かな麦阿
 06 93 09 おほしの給 おほし給保 おほしの給はする麦
 阿
 06 93 09 きこえずいわす麦阿
 06 93 09 大納言殿 大納言麦
 06 93 09 いかにか陽
 06 93 10 ものゝはしめのものゝはしはしめぬにノ上
 カラ後出のヲ書ク_保物のはしめに麦阿
 06 93 10 六位すくせよ御六位すくせよ讚陽保
 06 93 10 つふやくもいふも讚 つふやく保
 06 93 10 ほのきこゆほのき給讚陽保 ほのかに聞ゆ
 麦
 06 93 11 ひやつぶ_{兵部陽}
 06 93 11 うしろにうしろにしも保うしろへ麦
 阿
 06 93 11 なけくなく讚
 06 93 11 おとこ君をここ君陽
 06 93 11 我をはをは讚 われを麦阿
 06 93 13 すこしナシ保
 06 93 14 くれなぬのくれなぬぬにノ上カラのヲ書ク
 陽
 06 93 14 なみたにふかき涙にそむる麦阿

06 93 14 あさみとりにやあさみとりにや讚麦阿あさ
 みとりにや保
 06 94 02 身のつきほとのみのおきこの保麦阿つき
 こつきこほい_{こ麦}
 06 94 02 中のころもそ中のころそ陽
 06 94 02 もの給はてぬにの給はてぬに讚陽保の給
 もはてぬに麦阿
 06 94 03 殿との讚 ナシ阿
 06 94 03 たちとまりまちとまり阿
 06 94 04 いとナシ保
 06 94 04 人わるく人わるく讚陽保麦阿
 06 94 05 おまへ御まへ讚陽
 06 94 06 とまらねはとまらねは陽
 06 94 07 うちはれたるうちはなれたる阿
 06 94 07 みえんか見えんは麦阿
 06 94 08 宮はた宮のかた讚
 06 94 08 めしまつはすめしまとはす麦阿
 06 94 08 へかめればへかむめれば讚
 06 94 08 所に所にて保
 06 94 08 いて給なりけり出成けり麦
 06 94 09 みちのほと道みちの程陽
 06 94 09 いたうナシ讚保
 06 94 10 くらかりけりくらかりける讚 くらかりケリ
 「ケリ」八後補力_麦
 06 94 11 しもこほりしほこほり保
 06 94 11 大殿にははおほ殿には ノ上カラ後出は
 ヲ書ク_陽
 06 94 12 ことしナシ讚
 06 94 12 五節五節せち_陽

06 94 12 たてまつりたてまつれ保
 06 94 12 なにはかりのなにの讚
 06 94 12 わらはへわらへ陽
 06 94 12 さうそく將そく讚
 06 94 13 ちかうちかく讚保
 06 94 13 給ふ給へり陽
 06 94 13 ひんかしの院にはひんかしのあんに保麦阿
 06 94 13 夜よ陽
 06 94 13 人々の人への保
 06 94 14 わらはわらはへ麦阿
 06 95 01 れうなとえならてたてまつれ給へりこと
 ちれうなとたてまつれたまへり保
 06 95 01 れうなとれうなと麦阿
 06 95 01 えならてナシ讚陽保
 06 95 01 たてまつれたてまつられ讚奉り麦奉阿
 06 95 01 としとしの讚
 06 95 01 とまれりしかとまりにしか讚とまりしかは
 陽とまりにしかは保とまれりてか麦
 06 95 01 さうしかりしさうさしかりし讚
 06 95 02 つもりつもりも麦阿
 06 95 02 とりそへとりそへて讚陽保
 06 95 02 うへ人の心ちもつねよりもはなやかにおもふ
 へかめるうゑ人とと思へる讚陽つゑ人とも
 をもへる保
 06 95 02 うへ人阿
 06 95 02 つねよりもナシ麦阿
 06 95 03 いとみてナシ麦阿

06 95 03 いとみしくよろつをよろつ讚陽保
 06 95 03 ありある讚
 06 95 03 按察大納言あせちの大納言讚陽麦阿あせつ
 の大納言保
 06 95 04 左衛門督左衛門のかみの讚左衛門のかみ
 保
 06 95 04 うへの五節にはうゑ五せちは讚うへの五節
 は陽保
 06 95 04 よしきよよしきよといひし讚よしきよとい
 ひしか陽保
 06 95 04 あふみのかみにて左中弁なるなんあふみの
 かみになりて右中弁なるぞ讚陽保
 06 95 05 たてまつりけるたてまつり給ける讚
 06 95 05 とゝめさせとゝめさせ阿
 06 95 05 宮つかへすへくやかて宮つかひすへき讚や
 かて宮仕すへき陽保
 06 95 05 おほせことおほせ麦阿
 06 95 05 ことなるわきたる讚保とりわきたる
 陽
 06 95 06 むすめをむすめ保
 06 95 06 たてまつりたてまつれ陽たてまつらせ
 保
 06 95 06 殿大殿麦阿
 06 95 06 まひひめはまひゝめには讚
 06 95 06 これみつのあそん惟光朝臣麦阿
 06 95 07 左京大夫左京の大夫陽保
 06 95 07 かけたるかかけたる麦阿
 06 95 07 女むすめ讚陽保麦阿
 06 95 07 かたちなとかたち讚陽ナシ保

06 95 07 いとをかしけなるいとをしけなる讚
 06 95 07 からいとからき讚からき陽保
 06 95 08 大納言大納言殿讚陽保
 06 95 08 ほかはらはら讚
 06 95 08 たてまつらるるにたてまつりたまふに讚
 陽保奉るに麦阿
 06 95 09 いつきむすめいつきむすめを陽保
 06 95 09 いたしたたらむたてまつらん讚たてまつ
 りたらんに陽保
 06 95 09 なのはちかあるへきとなにのとかはあ
 らんと讚なにのとかあらんも陽なにのと
 かあらむと保
 06 95 09 さいなめはさはなめはまつは麦阿
 06 95 09 おなくはおなしうは讚
 06 95 10 やかてせさすへくすへくと讚陽保
 06 95 10 たりこそ阿
 06 95 10 まひならはしまいとのはし讚ままいな
 らはし陽
 06 95 11 ようよく讚ナシ保
 06 95 11 したてしたて麦阿
 06 95 11 したしふしたしう陽したしく保麦阿
 06 95 11 そふへきはそふへきを麦阿
 06 95 11 いみしういみしく保
 06 95 11 えりとゝのへてえりたて讚陽ゑりいてゝ
 保
 06 95 12 その日のその日麦阿
 06 95 12 タつけてゆふつかた讚保タかた陽タつつ
 けて麦
 06 95 12 御かたノ御かた陽保

06 95 12 しもつかへのしもつかへ讚陽保
 06 95 12 すくれたるをとナシ讚陽保すくれたるを麦
 阿
 06 95 13 御らんしくらへてくくぶるを本下傍記
 讚 御覽しくらぶるに陽保
 06 95 13 えりいてらるへえりいてらるへには讚えり
 いてらるへか陽保えりとのへらるへほと
 の麦しりとのへらるへとの阿
 06 95 13 ともはとも讚
 06 95 13 いとナシ讚陽保
 06 95 14 御前をまへ讚保 御せん陽
 06 95 14 御らんせむらんせん讚
 06 95 14 御まへをまへ保麦阿
 06 95 14 わたらせてとさためわたらせつとさためさ
 世讚陽保
 06 96 01 すつへうもあらずすつへくもあらず讚保す
 つへきもあらず陽
 06 96 01 とり／＼なるとり／＼にをかしけなる讚陽
 保
 06 96 01 わらはへわらへ陽
 06 96 01 かたちをかしつきたちとも讚 かしらつきか
 たちともを陽保)ともをとんを保)
 06 96 03 よついによついき(に)保
 06 96 03 えらひにいりけるえらひまいりける讚
 06 96 03 大かくの君むねのみたいかくの君はむね讚
 陽保)たいかくの君 大かく君陽)
 06 96 03 ふたかりてふたかり保
 06 96 03 ものなともみいれられすナシ保
 06 96 03 ものなとももの讚 ものも陽

06 96 04 みいれられすみいれす讚麦阿くわれす
 陽
 06 96 04 くむしいたくてくしいたくて讚くしいたう
 して麦阿
 06 96 04 ふみもよまてれいのやうにふみもよまれす
 讚保 れのやうにも文もよまれす陽
 06 96 04 なかめふし給へるものうくてものし給讚陽
 保
 06 96 04 心も心麦阿
 06 96 05 たちいてゝたちいて讚
 06 96 05 まきれありきまきれあきれありき讚
 06 96 05 さまかたちは有さまかたち麦阿
 06 96 05 をかしけにてをかし(き)にて陽
 06 96 05 なまめい給へれはなまめかしうをはすれは
 讚陽保なまめかしうなめかしう讚 なま
 めかしう陽 なまめかしく保)
 06 96 06 女房などは女房とも讚陽保)とも(ん保)
 06 96 06 いとをかしとをかしく保
 06 96 06 みたてまつるみたてまつれる讚みたてま
 つる陽
 06 96 07 たにたにも讚保
 06 96 07 ものちかづもえちかくは讚ちかく陽ちか
 くは保
 06 96 07 わかナシ讚
 06 96 07 御心ならひ御心ならひには讚 御心ならひに
 陽麦阿 心ならひに保
 06 96 07 おほすにかおほす事か讚保 おほす事や陽

06 96 08 うと／＼しければをさなしとあなるまし
 きことそとてうと／＼しくならはしきこえた
 れは讚をさなしとあなるましきものこと
 そとつと／＼しくならはし給へれは陽 おさな
 きとはあなるましき物そとていとつと(あ)と
 へしくならはしきこえ給へれは保
 06 96 08 こたち女房讚陽保 たち阿
 06 96 08 けとをきをけとをくのみあるを讚陽保
 06 96 08 ものまきれものまきれ讚
 06 96 09 なめりなりけり讚
 06 96 09 つまとつ(ま)と陽
 06 96 09 たてゝたてゝ保 たて麦阿
 06 96 10 かりそめのかりそめなる讚陽保
 06 96 10 しつらひなるにしつらひに讚
 06 96 10 よりていりて讚陽保をりて麦阿
 06 96 10 なやましけにて(な)なやましけにて陽
 06 96 11 たゝおほきさなとたゝ讚陽保
 06 96 11 みえてナシ麦阿
 06 96 11 そひやかにナシ讚陽保そひやかに見えん麦
 阿
 06 96 11 などのなと讚陽保
 06 96 11 ことさらひことさらに麦阿
 06 96 12 をかしき所わさとをかしけなるさま讚陽
 保
 06 96 12 くらければくらふて讚陽保麦阿くらくて
 保
 06 96 12 こまかにはこまやかに保

06 96 12 みえねとみえねとをまやうなとまことしう
をかしけなるへし讚陽保をまやうおもふや
う保」

06 96 12 いとナシ讚
06 96 13 よくよつ讚

06 96 13 おもひいてらるゝなまにおほえたるに讚陽
保

06 96 13 心つるとはわざとつるとは讚うつると
は陽保心つるとしも麦阿

06 96 13 たゝにもあらでたゝならで讚陽たゝならず
保たゝにはあらで麦阿

06 96 14 ひきならい給にすこしひきならしたるを讚
陽すこしひきならし給入るを保ひきならし
給入るに麦阿

06 96 14 なに心もなくなに心なく麦阿
06 96 14 おもふにおもふ麦阿

06 97 01 あめにますあめ(まい)にます阿
06 97 01 おとめこか袖ふる山のナシ讚陽保麦阿

06 97 02 みつかきの身つからよの讚
06 97 02 なりけるなる讚

06 97 02 わかうをかしきいとわかうをかしけなる讚
陽保「わかうわかく陽」

06 97 02 こゑさま麦阿

06 97 03 たれともたれとん保
06 97 03 え思ひたとられすきゝしらねは陽ハぬノ上
カラねヲ書ク「讚陽保

06 97 03 そふとてナシ麦阿

06 97 03 さはきつるそゝきつる讚陽保とかくさはき
つる麦阿

06 97 03 うしろみともかしらつきともゝ麦阿
06 97 04 ちかうちかく保
06 97 04 よりてよりきて讚陽保

06 97 04 人さしかしう人けう讚人しけう陽保「しけ
うしけく保」

06 97 04 いとナシ讚陽保
06 97 04 ちをうて口惜て陽くちをしくて
保

06 97 04 あさきみとり陽
06 97 05 心やましければこゝろやましければ大成
とダガは力保

06 97 05 うちへ内へも麦阿
06 97 05 まいる事もせずまいりたまふ事も保まいら
す麦阿

06 97 05 ものうかり給物つく成給麦物つく成行
阿

06 97 05 ことつけて心かゝりて讚陽保ことつて
阿

06 97 06 さまかはれるさまはかりたるてノ上カラた
ヲ書ク「保

06 97 06 きよらなるあらましき讚あさましき陽
保

06 97 06 またきにおよすけて心はかりはをよすけす
くして讚心ちはかりはいみじうをよすけす
くして陽保「心ち心ち(陽)「いみじうい
みしく保」すくしてすこして保」

06 97 07 はしめたてまつりてはしめて讚麦阿

06 97 08 御おほえ人のありさま讚人の御ありさま
陽人の御おほえありさま保

06 97 08 まいるまいれる讚保
06 97 09 心々になく心きゝなん讚心ノになう
「のノ上カラ先出にヲ書ク「陽

06 97 09 大殿と大納言殿とは大殿と大納言殿と
は讚保麦阿

06 97 09 すくれたりすくれたる阿
06 97 10 めてのゝしるめてのゝしるを讚陽保

06 97 10 をかしけなれとをかしければと讚をかしけ
れと保

06 97 10 こゝしつそひやかにこゝしつをかしつ讚に
ほひやかにこゝしつ陽保麦阿「こゝしつこゝし
しく保」

06 97 10 うつくしけなるうつくしき保
06 97 10 ことはこと陽保

06 97 10 なをナシ陽

06 97 10 大殿には大殿には讚麦阿
06 97 11 えおよぶましかりけりをよぶましかりけり
保麦阿

06 97 11 ものきよけにいまきてそのものともみゆま
しうしたてたるやうたいなどのありかたうを
かしけなるものきよけなる讚陽保

06 97 12 やうたいさまたい麦さまみたい阿
06 97 12 かうかく讚かくは陽保ナシ麦阿

06 97 12 ほめらるゝほめのゝしる讚陽保
06 97 12 なめりなりけり讚陽保麦阿

06 97 13 まあひめともまひゝめ讚陽保
06 97 13 みなナシ讚

06 97 13 おとなひつゝをとなひて讚陽保

06 97 13 とし事阿

06 97 13 殿 大殿讚陽保麦阿
 06 97 13 まいり給てまいりて讚陽保
 06 97 14 とまり給しとまりし讚
 06 97 14 をほしいつまつおほしいつ讚陽保おほしい
 麦阿
 06 98 01 御ふみのうち 御文うち 讚 御文の中陽麦
 阿
 06 98 02 おとめ子も おとめにも讚
 06 98 02 神さひぬらし 神さひぬらん 讚陽保
 06 98 02 ふるき世のとも ふるき世にも 讚 ふるきよ
 とみの国
 06 98 02 よはひへぬれば よはひへぬれと国
 06 98 02 とし月とし 讚陽保
 06 98 03 つもりをかそへて つもりを 讚陽保 つもりに
 そへて国
 06 98 03 うちおほしける うちおほしたる 讚
 06 98 03 うちおほしける まゝの あはれをえしのひた
 まはぬはかりのをかしうおほゆるもはかなし
 や かくおほしける 御返事国
 06 98 03 まゝの まゝに 讚保 〔まゝ〕陽
 06 98 03 あはれを あはれを は 讚
 06 98 03 えしのひたまはぬ しのひ給はぬ 讚麦阿
 06 98 03 はかりの も 讚 はかりを 陽保
 06 98 03 をかしう ナシ 讚 〔ナシ〕かく保
 06 98 04 おほゆるもはかなしや はかなくゝられれと
 御返讚 思ひたへぬもはかなしくられれと 御
 返陽 おもひたえぬはかなしくられれと 御返
 保
 06 98 05 かけていへは かけていはは 讚国

06 98 05 おもほゆる おほゆる 讚陽国
 06 98 05 袖にとけしも 袖にさへしも 国
 06 98 06 かみかみに 国
 06 98 06 よくよう 陽麦阿
 06 98 06 まきはしいたる かきまきはしいたる 讚
 陽 まきはしいたる は八か力 保 かきたり
 国
 06 98 06 こすみうすすみ うすうみこすみにて 讚 こす
 みうすうみにて 陽保 こすみ こすみ保 〔か
 すみうすうすみに 国
 06 98 06 さうかちにつちませ みたれたるも ナシ
 国
 06 98 06 うちませ ナシ 讚陽保
 06 98 07 みたれたるも みたれかひたるも 陽
 06 98 07 ほとにつけては ほとには 讚 ほとにては
 保 ほとにつけて 阿
 06 98 07 をかしと 御らんす をかしうおほさる 讚陽保
 〔をかしうをかしく保〕おかしと 御らんせら
 る 国
 06 98 07 冠者の君も 火さの君は 讚陽保 阿 〔火さの
 君くわさの君 陽保 阿〕 大かくのきみはこ
 のまいひめを 国
 06 98 07 めとまる めとむる 讚陽保 国
 06 98 08 おもひありき 思ひいて 給ことありて 見あり
 き 国
 06 98 08 ちかく ちかう 陽麦阿
 06 98 08 たに ナシ 讚 も 陽保 国
 06 98 08 よせす よらす 讚陽保 よせて 国
 06 98 08 いと ナシ 讚陽保 麦阿

06 98 08 けうしう けうしう 陽 けうしう 保 国
 06 98 09 もてなしたれば もてなしたればとけたるか
 たちはえ見給はず 国
 06 98 09 ものつゝましきものゝつゝましき 保 麦
 阿
 06 98 09 ほと心には 御ほと心は 讚陽保 御ほと
 国
 06 98 09 なけかしうて なけかしうて 保 なけかしうて
 のみ 国 なけかしうとて 阿
 06 98 09 やみぬかたちはしも すきぬ 国
 06 98 10 いと ナシ 国 麦阿
 06 98 10 つきて かりて 国
 06 98 10 なくさめ 御なくさめ 讚陽保 国
 06 98 10 みるわざしてんや 見はや 国
 06 98 10 おもふ おほす 讚陽保 国
 06 98 10 みな づらき人のみな 二モミセケケアルガ
 誤り力 讚
 06 98 11 とめとゝめ 讚陽保 国 麦阿
 06 98 11 給て 給陽 給へと 国
 06 98 11 宮つかへす へき 御けしきありけれと ナシ
 国
 06 98 11 すへきすへくも 讚すへく 陽保
 06 98 11 ありけれとあれと 讚陽保 有けれと 〔はノ上
 カラとヲ書ク〕 麦
 06 98 11 まかてさせてあふみのはからさきのはらへつ
 のかみはなにはといとみてまかてぬ 大納言も
 ことさらにまいらすへきよしそうせさせ給左
 衛門督その人ならぬをたてまつりてとかめあ
 りけれとそれとゝめさせ給まにノさせ

06 98 11 まかて(ま)ま(か)て陽
 06 98 11 あふみのはあふみの讚
 06 98 12 つのかみはつのかみのは陽保津の国のは麦
 阿
 06 98 12 なにはとなにつに讚 にはにと陽な
 はつと麦阿
 06 98 12 いとみていとなみて讚陽保
 06 98 12 大納言も大納言殿も讚陽大納言のも
 保
 06 98 12 ことさらにことさら陽
 06 98 13 そうせさせそうせさせてまかてさせ麦
 阿
 06 98 13 左衛門督左衛門のかみなむ讚陽保左衛門の
 かみ左衛門督陽
 06 98 13 たてまつりてたてまいりて讚まいらせて麦
 阿
 06 98 14 ありけれと有ければ麦阿
 06 98 14 つのかみつづくに国
 06 98 14 内侍のすけつちとき御の本まゝト傍記国内
 侍のすけの麦阿
 06 98 14 あぎたるにとあぎたる所にと讚陽保あひた
 るにと国あぎたるに麦阿
 06 98 14 まつさせたれば申さすれば陽まさせたれば
 保そうせさせければ国
 06 99 01 いたはらましといたはらましと讚
 06 99 01 大殿もとの国
 06 99 01 おほいたるおほしたる讚陽保国

06 99 01 かの人はナシ国
 06 99 01 いとナシ国
 06 99 02 おもふおほすを讚おほす陽保国
 06 99 02 わかナシ讚
 06 99 02 とし御とし国
 06 99 02 などなどの讚陽保国麦阿
 06 99 02 かくものけなからすはかゝらすは讚陽保物
 けなきほとならずは国
 06 99 02 こひみてまし物をこひてましなと思讚陽
 保かはかりの人を見さらましやはとおほし
 て国
 06 99 03 おもふ心ありとたにしられてやみなん事とナ
 シ国
 06 99 03 おもふ心ありかゝる心あり讚保かゝる心あ
 る陽
 06 99 03 たになに陽
 06 99 03 いられていらせて讚陽保
 06 99 03 わさとのことにはあらねとわさとの事なら
 ねと讚陽保わさとならねと国わさとのこと
 にあらねと麦阿
 06 99 03 うちそへてナシ讚陽保国
 06 99 04 なみたくまるゝなみたくまれ給国
 06 99 04 おり／＼をりも讚陽保
 06 99 04 ありある阿
 06 99 04 わらは殿上するわらは殿上するか讚陽保
 国
 06 99 04 つねにこの君につねに讚陽保このきみにも
 つねに国
 06 99 04 まいりいり陽

06 99 05 なつかしうなつかしく保国
 06 99 05 かたらひ給てかたらひて讚陽保
 06 99 05 うちへ内へは陽ナシ国
 06 99 06 給給へは讚陽保国
 06 99 06 ことしとことし阿
 06 99 06 こそはこそ讚陽保
 06 99 06 きゝ侍れときゝ侍と讚侍れと国
 06 99 06 きこゆ申讚陽保申せは国
 06 99 06 いとナシ讚陽保
 06 99 06 よかりしかはすゝるにこそ恋しけれよかり
 しこそすゝるに恋しけれ我に見せてんや国
 06 99 07 ましかましかし二本ト傍記讚まろか陽ま
 し保きみか国まうとか麦阿
 06 99 07 みるらむもみたらんか讚みるらんと陽み
 ららんか保みるらんこそ国
 06 99 07 うちやましきをうちやましけれ国
 06 99 07 またみせてんやまたはみせてんや讚(ま)ま(か)
 たみせてんや陽ナシ国
 06 99 08 いかてかさは侍らん心にまかせてもえみ侍
 らすをのこはらからとてちかくもみせ侍らね
 はおとこはらからはとてみせ侍らねは心に
 まかせてもえ見給はす国
 06 99 08 さはさはた陽
 06 99 08 えみ侍らすみはへらす讚陽保
 06 99 08 をのこはらからをのこはらからは陽保
 06 99 08 ちかくもちかうも陽
 06 99 09 侍らねは侍らぬ(ね)は麦
 06 99 09 ましてまいて麦阿

06 99 09 いかてかきんたちには きんたちはいかてか
 讚陽保(きんたち 君たち陽 きたち保)い
 かてか国 いかてか君たちは麦阿
 06 99 09 御らんせせん 御覽せん 讚陽保麦阿
 06 99 09 きこゆさらはぶみをたにて きこゆれはさら
 はこれを見せよとて 御ふみかきて 国
 06 99 10 たまへり 給へは 讚 給はせたり 国 給はる 麦
 阿
 06 99 10 さぎノ／＼ さぎノ／＼も 讚陽保麦阿
 06 99 10 かやうのかゝる 国
 06 99 10 事は 事も 讚(こと)もは 陽
 06 99 10 いふむつかる 国
 06 99 10 くるしけれとくるしけれとも 麦阿
 06 99 10 せめてたまへは せめ給へは 讚 国
 06 99 11 いとおしうていとをしめて保 ナシ 国
 06 99 11 もていぬとりていぬ 国 もていてぬ 麦
 阿
 06 99 11 としのほとよりは されてやありけんをかしと
 みけり ナシ 国
 06 99 11 みけり みる 讚陽保
 06 99 12 うすやうのうすやうゆにノ上カラのヲ書ク
 讚
 06 99 12 このまじきかさねなるにいとこのまじけな
 るに 国
 06 99 12 なるに なるにノ上カラにヲ書ク 陽
 06 99 12 てはまたては 讚陽保 御てはまた 国 ていま
 た 麦
 06 99 12 いと ナシ 国 麦阿
 06 99 13 みえてありて 国

06 99 13 いとをかしけにうつくしく 讚保(いと)うつく
 しく 陽(うつく)しく 保 ナシ 国
 06 99 14 するかりけめや するかりけりや 保阿(する)か
 りけめや 麦
 06 99 14 かけし心は かけし心を 讚陽保
 06 99 14 ふたり ぶみ 削訂[国]
 06 99 14 みる みる 給へる 讚(みる)たる 陽保
 07 00 01 ちゝぬし ちゝのぬし 国
 07 00 01 ふと ナシ 国
 07 00 01 よりきたり をはしたり 讚(きたり) 陽保(きぬ)
 国(より)きけり 麦阿
 07 00 01 おそろしうあまされて ナシ 国
 07 00 01 おそろしうあましくて 陽(を)そろしくて
 保
 07 00 01 えひきかくさす えひきもかくさす 讚保(ふと)
 ぬえひきかくさす 国
 07 00 01 ふみそ ぶみ 讚
 07 00 02 あかみて あかめて 国
 07 00 02 ぬたり ぬたる 讚
 07 00 02 よからぬ かゝる 国
 07 00 02 わさわさを 讚
 07 00 02 しけりと しけり なんと 讚(しけり) なんと 陽
 保 国
 07 00 02 にくめは にくめは 讚(にく) みははて
 国
 07 00 02 せうと せうとは 陽保(ナシ) 国
 07 00 02 につけていく につけてゆく 讚(麦阿) ゆく 国
 07 00 03 よひよせて よひとよめて 讚(陽保) よひかへし
 て 国(ひか)へて 麦阿

07 00 03 たかそと ナシ 讚
 07 00 03 とへは しめてとへは 讚陽保
 07 00 03 くわさの君 火さの君 讚(く) わんさのきみ
 国
 07 00 03 しかノ／＼ かうノ／＼ 国
 07 00 03 のたまうて いひて 讚陽保(の) 給はせて 国(の)
 給て 麦阿
 07 00 03 給へる しめて 給へる 陽保(給) つる 国
 07 00 04 いへは いふに 讚陽保
 07 00 04 うちえみて つちわらひて 讚(え)みて 国
 07 00 04 いかにて 讚(ナシ) 麦阿
 07 00 04 御され心 御され 讚陽保(御) され わさ 国
 07 00 04 なり なれや 国(也) な 麦阿
 07 00 04 きんちらは きんちは 讚陽(きん) ちらは 保(こ)
 の ちこは 国(きん) ちらか 阿
 07 00 05 おなしを さなし 陽
 07 00 05 とし ナシ 国
 07 00 05 いふかひなくは かなかめりかしなと ほめては
 君にも いふかひなし かしと もてさはきて
 は ぎみ けしと 三セケチカ[国]
 07 00 05 みす みせて 国 麦阿
 07 00 06 君たちの きみに 国
 07 00 06 すこし すこしも 国 麦阿
 07 00 06 人がすに 人がすにも 讚陽保
 07 00 06 おほしぬへから ましかは おほしぬへうは
 国
 07 00 06 宮つかへ おほそらの 宮つかへ 讚(おほ) そらの
 宮仕 陽保(大) すの 宮つかへ 阿
 07 00 06 よりは もせさせて 国(より) 麦阿

07 00 06 たてまつりてましたてまつりて(ま)し
陽

07 00 07 御心をきて御心をよく讚御心をきてを陽保
国麦阿

07 00 07 みそめ給てん見給なん国

07 00 07 人を人陽

07 00 07 御心とはおほろけならて讚陽「オ」ほろけ
にては保

07 00 07 わすれ給ふましきとわすれ給ましかめる讚
陽保 わすれ給はしとみる国忘給ましき麦
阿

07 00 08 いとナシ国

07 00 08 たのもしけれこのもしけれ讚

07 00 08 あかしの入道のためしにやあかしの入道た
めしにや讚

07 00 08 などと国

07 00 08 いへといへは讚麦阿いへとん国

07 00 08 みなナシ国

07 00 08 いそきたちになりいそきたちたり讚

07 00 09 ふみをたにえやり給はすたちまさるかた
のことし心にかゝりてほとふるまゝにナシ
国

07 00 09 ことし事讚麦阿事と陽

07 00 10 ほとほとの讚

07 00 10 おもかけに御をもかけを讚陽国御をもかけ
をおきふし保

07 00 10 あひみてやあひみてむや讚保あひみはや
国あひみんや麦阿

07 00 10 ほかのほかのほかの麦

07 00 11 宮大宮麦阿

07 00 11 御もとへ御もとへも讚陽保麦阿御おほん
陽御もとにも国

07 00 11 おはせしかたとしころあそひなれし所のみ思
ひいてらるゝ事まさればさとさへうくおほえ
給つゝナシ国

07 00 11 おはせしかたまれゝまいり給てはをはせ
しかた讚陽保

07 00 12 所のみ所の陽方のみ麦阿

07 00 12 事事のみ麦阿

07 00 12 おほえ給つゝおもほえ給つ保

07 00 12 またなを讚保国

07 00 13 こもりるこもり麦

07 00 13 にしのたいにそにしの御方にそ国東のたい
にそ麦東のたいにて阿

07 00 13 きこえあつけきこえつけて陽きこへつけ
国

07 00 13 たてまつり給ける給てける讚まつり給ける
陽給ける国

07 00 14 御世ののこりすくなけなるを御よものこり
すくなう国

07 00 14 のちものちにも心ほそし思はんいとをしに
はかにむつひ給はんよりは国

07 00 14 ほとよりをりに国ほとよりも麦阿

07 01 01 みならしてつしるみおほせ見なれむつひ給
へ国

07 01 01 まゝのまゝ(まゝ)の陽まゝなる国

07 01 01 なつかしうなつかしく保国

07 01 02 あはれに思ひあつかひたてまつり給うしる

07 01 02 なとも国ナシ麦阿

07 01 02 みたてまつるにもみたてまつり給にも讚み
たてまつるに陽見きこえ給おりゝあるに
国

07 01 02 かたち御かたち国

07 01 02 まほならずもまをならずも讚陽まほならず
とも保まほならず国阿

07 01 03 人はナシ国

07 01 03 給はさりけり給はぬものなりけり讚保
国

07 01 03 などと国

07 01 03 我われ陽わか保国ナシ麦阿

07 01 04 つらきつらしと思ひきこゆる国

07 01 04 心にかけてナシ国

07 01 04 おもふもおもひ国

07 01 04 あちきなしやナシ国あちきなし麦阿

07 01 05 やはらかならむやはらかならぬ陽やはらか
なりとん国なたらかならん麦阿

07 01 05 人をこそあひおもはめと思ふナシ国

07 01 05 あひおもはめみめ讚陽保

07 01 05 また(ま)また陽

07 01 05 むかひてむかひめて陽保むつひいたらんに
国

07 01 05 みるかひかひ国

07 01 06 いとをしけなりいとをしう国いとをしけな
る麦阿

07 01 06 かくてナシ国

07 01 06 としへとしころになり国

07 01 06 給にけれと給ぬれと讚陽保国
 07 01 06 殿の殿は麦阿
 07 01 06 さやうなるいまにさやかなる讚陽保(いま
 にい)まに陽(まを)にけさやかなる国
 07 01 06 御かたち御かたちを讚保かたちを陽御か
 たちも国
 07 01 06 御心と心と讚ナシ国
 07 01 07 み給うてみたてまつり給はて讚陽保見給は
 す国み給て麦阿
 07 01 07 はまゆふはま(文)ゆ(陽)
 07 01 07 さしかくしつゝさしかくして讚陽保麦阿さ
 しかくし国
 07 01 07 なにくれとなにくれのと麦
 07 01 07 もてなしきこ入国
 07 01 07 まきはし給めるまきはかし給讚まとはし
 給国
 07 01 08 思心のうちそ思心の中そ陽おもふ御心の
 うち保見給御心のうちそ国思心中そ麦阿
 07 01 08 はつかしかりけるはつかしけなる讚陽保は
 つかしけなりける国
 07 01 08 大宮のかたちことにおはしませとまたいと
 けらにおはしこにもかしこにも人はかたち
 よきものとのみめなれ給へるをナシ国
 07 01 08 大宮の大殿は麦大宮は阿
 07 01 09 またなを讚保
 07 01 09 きよらにおはしきよらにて讚陽保きよらに
 おはしし麦阿
 07 01 09 かたちかたちは讚陽保た々かたち麦

阿
 07 01 10 のみめなれみならひ讚陽保
 07 01 10 すくれさりける御かたちのすくれてもおは
 せさりける御かたちを国
 07 01 10 やナシ讚麦阿や々陽やうノ国
 07 01 10 さたすきたる心地してナシ国
 07 01 10 さたすきたる(文)サ(た)すきたる讚
 07 01 11 御くし御くしの麦阿
 07 01 11 すくなるすくなく讚麦阿すくなくなりゆ
 くおとろノ国すくなく麦阿
 07 01 11 なとかかくなとかくと讚ナシ国なとある
 をかく麦阿
 07 01 11 なりけりなるへし国
 07 01 11 としのくれにはとしのくれに讚陽保としの
 くれになりぬれは国
 07 01 12 む月正月讚陽保
 07 01 12 御さうそくさうそく讚御しやうそく保御
 さうそく国
 07 01 12 なとなにも讚陽保ナシ国
 07 01 12 たこの君ひと所の御ことをまじることな
 うまたことノなく国
 07 01 12 御ことを御こと阿
 07 01 12 ましるます讚陽保(ま)ま(す)陽
 07 01 13 なうなく讚陽保麦阿
 07 01 13 いそいたまふいそき給讚陽保国麦阿
 07 01 13 あまたくたりいとあまたくたり讚保
 07 01 13 いとナシ保国
 07 01 13 きよらにしたてたまへるをけふらにしたて
 まつる国

07 01 14 のみおほゆれはて国
 07 01 14 ついたちつゝいたぢ保
 07 01 14 かならずしもわざとかならず讚わざとかな
 らずしも陽保かならず国
 07 01 14 内へこに讚内へなと陽保うちへなんと
 ん国思阿
 07 01 14 まいるましつ思ひ給ふるにまいるへきにもあ
 らず讚まいるへきにも侍らぬに陽保思ふ給
 へぬを国まいるましつ思給ふるに麦阿
 07 02 01 なに何しに国なにを麦阿
 07 02 01 かくかう陽
 07 02 01 なとてかなとかは国なとか麦阿
 07 02 01 ささは讚陽ナシ国
 07 02 01 おひくつをれたらむあやしくをいくつをれ
 たらん讚保あやしくをひくつをくれたらん
 陽あやしうをひくし給つらん国
 07 02 02 やうにももの給かなとやうにももの給なと
 讚さまにもの給かなと麦さまにの給かなと
 阿
 07 02 02 の給へはの給を讚の給陽保
 07 02 02 おいねといと讚をひぬとも国
 07 02 02 くつをれたるくつおほれたる陽
 07 02 02 ひとりこちてつちなみたくみて給へりつ
 ぶやし給をき給て国
 07 02 03 思ならん思なん讚
 07 02 03 いとナシ国麦阿
 07 02 03 心くるしうてこさくるしくて保
 07 02 04 宮も宮国
 07 02 04 うちひそみうちいそみ讚うちもひそみ麦

07 02 04 給ぬ 給て国
 07 02 04 たに たにこそ国麦阿
 07 02 04 心を 心は陽国 ころをく保
 07 02 04 たかうこそ たけうこそ讚保 たけうたけ
 く保 たかくこそ陽 たかく国 たかうは麦
 阿
 07 02 05 なれ めれ国
 07 02 05 しめやかに しめやかにて讚国 しめやきて陽
 保
 07 02 05 かく ナシ讚陽保国
 07 02 05 なものし給そ 物し給そ麦阿
 07 02 05 なにとかなに事をか陽八もノ上カヲをヲ書
 ク讚陽保国 なたて麦阿
 07 02 05 かうなかめかちに あなかちに讚 あなかち
 には陽保 つねには国 かくなかめかちに麦
 阿
 07 02 05 思ひいれ給へき おほす国 思はれ給へき
 阿
 07 02 06 ちゅうしゅう ゆゆしく讚陽保 ゆし麦阿
 07 02 06 の給も の給讚陽保麦阿 の給へは国
 07 02 06 なにかわ なにか陽 なには阿
 07 02 06 六位なと くらるなとモ国
 07 02 06 人の 人も陽保
 07 02 06 侍めれは侍なれは国 侍れは麦阿
 07 02 06 ことゝは事と陽保 こととは国
 07 02 07 おもふたまふれと 思ひ給れと陽阿 おもふ給
 れと保 思給れと麦
 07 02 07 内へ 内に麦阿

07 02 07 物うくて 物うく国
 07 02 07 なん ナシ讚
 07 02 07 おはしまさましかはを はせましかは讚陽保
 国
 07 02 08 人には とりノくに 国人に麦阿
 07 02 08 侍らさらましは へらさまし讚 さらまし
 陽 ましや国
 07 02 08 おはすれとおはせねは国
 07 02 09 けしうかとノしう讚 つましう
 国
 07 02 09 おほいたれは おほしたれは讚陽保国
 07 02 09 おはします おはする国
 07 02 09 あたりに 所にも讚保 所にも陽ところち
 かつたに国 あたりにも麦阿
 07 02 09 たやすくも たやすく讚 たはやすく陽保 ナ
 シ国 たやすく麦阿
 07 02 09 まいりなれ侍らす まいる事もえしはへらす
 讚 まいる事もし侍らす陽 まいることも侍ら
 す保 まいり侍らす国麦阿
 07 02 10 ひんかしの院にて たひんかしの院にて讚
 陽保 たひんかしの院に国 共東院にて麦
 07 02 10 なんそ国
 07 02 10 おまへ 御まへ讚国
 07 02 10 ちかくちかくは 讚陽国 ちかくなとは
 保
 07 02 10 侍る 侍る保
 07 02 11 ものし給へものし給讚
 07 02 11 いまひと所今ひといまひと所陽とひと所

阿
 07 02 11 おはしまさましかはを はせましかは讚陽保
 国
 07 02 11 なに事を 何事か麦阿
 07 02 11 思ひ侍らまし 思ふ給へまし国
 07 02 11 とてとてとて陽
 07 02 12 おつる おほる阿
 07 02 12 まきらはい まきらかし讚 まきらはし陽保国
 麦阿
 07 02 12 給へる 給陽国
 07 02 12 けしきいみしう 気色の国
 07 02 12 あはれなるに あはれなるをみ給て讚陽保あ
 はれなれは国
 07 02 12 宮は 宮国
 07 02 12 いとナシ讚陽保いと国
 07 02 13 はににも はにに讚陽保国麦阿
 07 02 13 ほとノにつけて ナシ国
 07 02 13 さのみこそ さこそ讚保 さこそは陽国
 07 02 13 あはれなれと あはれなれと保 ほとにつけ
 てあはれなれ国
 07 02 14 をのつからをのか讚陽保
 07 02 14 すくせノに すくせを讚 すくせノにひか
 れて保 すくせの国
 07 02 14 人と 人 麦
 07 02 14 なりたちぬれは なりはてぬれは讚陽なりぬ
 れは保 ひとしくなりまされは国
 07 02 14 をろかに おろかなる国
 07 02 14 おもふも 思ふをやも讚陽保 思ふ 思陽保 思
 やも国 おもふ人も麦阿

07 02 14 なるを なる讚 なりと国
 07 03 01 思ひいれぬ たゞ思ひいれぬ 讚 たゞよろつ
 思ひいれぬ 陽 たゞよろつにおもひいれぬ
 保
 07 03 01 におとゝのいましはしたにものし給へかし か
 しと陽 ナシ国
 07 03 01 におとゝのをとゝの讚保
 07 03 01 ものし給へかしものしたまえましかは保
 07 03 02 かけには 御かけとは 讚陽保国 御かとは
 保
 07 03 02 ことゝ 事讚陽保 ことに国
 07 03 02 思ふに ナシ麦阿
 07 03 02 ことゝの こと国
 07 03 02 おほかるかなさもおほかるかな 讚陽保 おほ
 かるよになん国
 07 03 03 心はへも み心はへも 讚陽保(み 御陽) 御心
 はへの国
 07 03 03 あらすと あらす陽保 にす国
 07 03 03 世人 世人 讚 よの人国
 07 03 03 めていふめてゆふ保
 07 03 03 むかしにむかしには国
 07 03 04 かはる かはりゆく 麦阿
 07 03 04 まさりゆくに まさりゆく 讚 おほかるに
 国
 07 03 04 いのちなかさいのちなかき国
 07 03 04 うらめしきにうらめしきを 陽 うらめしきも
 保 うらめしき国
 07 03 05 さへたに 讚陽保 麦阿

07 03 05 かく ナシ 讚国 かう 麦阿
 07 03 05 いさゝかにて もいさゝかにて 保 いさゝかに
 も国
 07 03 05 世を 物を国
 07 03 05 思ひしめり おもほししめり 讚 思ひしり
 国
 07 03 05 給へれば 給へは国
 07 03 05 いとなむ ナシ国 いと なる阿
 07 03 05 うらめしきうと ましき 保国
 07 03 06 なる なりや国 也 麦阿
 07 03 06 をはします おはす国
 07 03 06 大殿は 大殿には 讚 れいのおほとゝ
 国
 07 03 06 御ありき 御あるき 陽保
 07 03 07 おはします おはす国
 07 03 07 よしふさ よしうち国
 07 03 07 おとゝとおとゝ となと 讚陽保 おとゝ国
 07 03 07 きこえける きこえし 讚
 07 03 07 いにしへの れい いにしへの 人 讚 いにしへの ひ
 と 陽保 いにしへの 国
 07 03 07 なすらへて なすらへて 麦阿
 07 03 07 あをむまひき あをむまの ひき 讚 あを馬む
 夫(ひき) 陽
 07 03 08 せち糸の 日(せち) 糸の ひは 讚陽保 麦阿(せち
 糸) 節(糸) せち(糸) 陽(糸) せち(糸) 入国
 07 03 08 内(う) 入(麦) 阿(う) 入(ち) 阿
 07 03 08 うつして(う) つつし 国
 07 03 08 ためしよりも ことそへていつか かしき ナシ
 国

07 03 08 ためしよりも ためしより 麦阿
 07 03 09 いつか かしき いかめしき 讚
 07 03 09 御ありさま ありさま 国 御有様 麦
 07 03 09 きさらきの 廿日(あ) まり(き) さ(き) の 廿日(う) ち
 まりの ほとに 讚陽保 き(さ) さ(き) の 廿日(う) ち
 に 国 二月廿日 麦阿
 07 03 09 すさく 院に 朱雀院に 讚国 麦阿 朱雀院の
 保
 07 03 09 きやうかう 行幸 讚陽保 国 阿 行 麦
 07 03 09 花さかり 花のさかり 讚陽保
 07 03 10 またしき 夫(ま) たしき 陽
 07 03 10 程なれと ころのおほえなれと 讚 ころのお
 ほえなれと 陽保 国 なれと 侍なれと 陽(を
 麦) 阿
 07 03 10 やよひ 三月 讚陽保
 07 03 10 御忌月 御忌日 国
 07 03 10 なりなりとて 讚陽保 阿 なれは 国
 07 03 10 とくひらけたる とくひ(う) ら(けたる) 陽(う) っ
 ひらけたる 国 ひらける 阿
 07 03 10 さくらの さくらとも 讚 さくらとも 陽
 保
 07 03 11 いろもいとおもしろければ 色をもしろう お
 かしき ほとに 国
 07 03 11 院にも 院も 讚陽保 院に 国
 07 03 11 御ようい 御よそ 国
 07 03 11 給ひ 給 讚陽保 阿 たまふ 保国
 07 03 11 行幸につかうまつり 給上 達部み きたちよりは
 しめ心つかひし 給へり ナシ 国
 07 03 11 行幸に 行幸 阿

07 03 12 つかうまつり給つかうまつるへき人ノも
 讚つかうまつらせ給へき人ノも陽つかう
 まつり給へき人ノも保
 07 03 12 上達部 かんためめ讚
 07 03 12 みこたち 御子立麦
 07 03 12 人々 ナシ讚陽保 人ノは国
 07 03 13 さくらかさねを 桜かさね阿
 07 03 13 給 給えり国
 07 03 13 みかと 御門 ミカトヘリノ上カラ 御門ヲ書
 ク讚
 07 03 13 あかいろ あをいろ 国
 07 03 13 たてまつれり たてまつらせ給へり讚 たてま
 つりたり陽保
 07 03 13 めしありておほきおとまり給おなしあか
 いろをき給へれはいよノナシ国
 07 03 13 めしありておほきおとまり給 ナシ
 讚
 07 03 13 めしありてめしにて陽保
 07 03 14 まいり給 さま(いり給陽
 07 03 14 あかいろをあかいろをノ上カラをヲ書ク
 保
 07 03 14 き給へれば ぎ給へは麦阿
 07 03 14 ひとつものひとつものに国
 07 03 14 かゝやきてめもかゝやきて讚保めかゝやき
 て陽 かゝやくまで国
 07 03 14 みえまかはせ給 人々のさつそくよついつねに
 ことなりめてたくおはします国
 07 04 01 人々の 人の讚陽 人ノもノ上カラのヲ
 書ク保

07 04 01 さうそく 正そく讚 御さうそく保
 07 04 01 ようい ようゐとも讚陽 ようゐも保
 07 04 01 つねにつねより讚陽保
 07 04 01 いといよノ麦阿
 07 04 01 きよらにねひまさらせきよらにねひま(ま)
 さらせ陽 けふらにねひまさり国
 07 04 02 御さまの 御さま讚陽保麦阿 ナシ国
 07 04 02 よういなまめきたるかたにすませ給へりい
 となまめかはしきかたにおはします国
 07 04 02 かたに さまに陽
 07 04 02 わさとの 文人 わきとの 文人 讚 わさとの 文れ
 「本マノ」ト傍記「陽 わかさ 人国 わさと
 文人 麦阿
 07 04 03 めさすたゝそのさえかしこしときこえたるか
 く生十人を めてたくそのころかしこきなへ
 たる十人国
 07 04 03 そのさえ その心 讚陽保
 07 04 03 かしこし かしこく 讚
 07 04 03 きこえたる なきこえたる 陽保 いはれたる 麦
 阿
 07 04 03 かく生 かくしやう 讚 かく者 陽 かくさう
 保 ナシ 麦 かす阿
 07 04 03 式部の つかさ しの かの 国
 07 04 04 題を なすらへて 御たい 本を しへて 国
 07 04 04 なすらへて なすらへに 讚 なそらへて 麦
 阿
 07 04 04 たらう 君の たらう 君 讚 国
 07 04 04 心み 心み 給はり 讚 陽 保 国 麦 阿
 07 04 04 給へき 給へき づつかり 讚 給へき づへ 陽 保 麦

阿 給ゆふくれに国
 07 04 04 なめりなるを国
 07 04 04 おくたかき おくしたる 陽 ことかき 国
 07 04 05 ものとは 物 とんは 讚 国
 07 04 05 ものももの 国 ナシ 麦 阿
 07 04 05 つな かね つな ぬ 陽
 07 04 05 池に いけにも 阿
 07 04 05 はなれいて はなれたる 国 はなれたて 麦
 阿
 07 04 05 いと ナシ 保
 07 04 05 すへなけなり す(ちへ)なけ也 保
 07 04 06 なりなる 讚
 07 04 06 日やうくたりて かくの 船とも やうノ
 日 くれて ぶね 国
 07 04 06 かくの 船 からの ぶね 保
 07 04 06 こきまひて こきいて 讚 こきまいりて 保 こ
 きまして 国 こきまはりて 麦 阿
 07 04 06 調子 し 国
 07 04 06 程の ほと 讚 陽 保 国
 07 04 07 山かせの かせ 国 あらしの 麦 阿
 07 04 07 ひゝき ナシ 国
 07 04 07 ふきあはせたるに ひきあはせたるに 讚 吹あ
 はせたり 国
 07 04 07 火さの 君は ぐわさの きみは 陽 保 麦 阿 大郎 ぎ
 み 国
 07 04 07 かう かく 讚 保 国
 07 04 07 道道(みち) 陽
 07 04 07 ならても ならても 讚 ならて 国

07 04 08 ましらひあそひぬへきましらひつへき讚ま
 07 04 08 ましらひあそひつへき陽ましらひあそひても
 あるへき国
 07 04 08 ものをと一身をと讚陽保をま国
 07 04 08 世中うちめつうつうめつう世中を讚うちめ
 つう世中陽保保保保保保保保保保保保保保保保
 つうつうめつう世中うちめつう世中うちめつう保い
 07 04 08 おほえ給けり春鶯囀まふおほざるあそひ給
 国
 07 04 08 春鶯囀しゆんあうてん麦阿
 07 04 08 ほととほと讚保
 07 04 09 花宴のほとはなのえんの日讚陽保花のえん
 のつう国
 07 04 09 おほいてん思ひいてん讚をほいてられ
 て国おもほし出て麦阿
 07 04 09 院のみかとも院のみかと讚八本卜傍記「讚
 陽保つう国ナシ麦院みかと阿
 07 04 09 又夫また陽
 07 04 09 さばかりの事さる事を讚国さばかりの事を
 保
 07 04 09 みてんやとみてやなんと讚みてんやなんと陽
 保見はやく国みたやと麦阿
 07 04 09 の給はするの給に讚陽保国
 07 04 10 つけてついで保
 07 04 10 その女の事かの女の事を讚
 07 04 10 おほし思ひ讚陽保おもほし麦阿
 07 04 10 つうつうめつう世中うちめつう世中うちめつう保い
 07 04 10 まひはするまひはする二本卜傍記「讚ま
 いんつう保はつう阿

07 04 11 おと院にナシ讚
 07 04 10 おと院にオトの麦
 07 04 12 さえつるこあはさへつるはるは国
 07 04 12 院のうへ御返国
 07 04 14 ここのへをここのへの国ここのの(多)へを
 阿
 07 04 14 かすみへたつるかすみへたつる讚かすみて
 たつる陽
 07 04 14 すみかにもかきねにも国
 07 04 14 春とつけくる春とつけくる讚はるとつけつ
 る国はるとつけ麦
 07 04 14 帥の宮七の宮讚そつの宮保そつのみこ
 国
 07 05 01 兵部卿にて兵部卿のみやときこゆる国兵部
 卿宮にて麦阿
 07 05 01 いまのうへ院のうへ国
 07 05 01 御かはらけかわらけ麦阿
 07 05 02 ふえ竹にふへたけは国
 07 05 02 ねさへかはらぬねさへかはらす国
 07 05 02 あさやかにあやかに讚ナシ国
 07 05 03 そうしなし給へるそつじ給讚国
 07 05 03 よういことにてたしとらせ給て御よつる
 めてたしと給ふと国
 07 05 04 むかしをこひてさえつるはむかしをこふる
 さへつりは国
 07 05 04 の給はするの給はするに陽の給へる国
 07 05 04 御ありさま御有様麦
 07 05 05 こよなくゆへしこよなくつゆへし

つ国ゆへしと麦阿
 07 05 05 御わたくしさまにたつじの国
 07 05 06 ことなれはことにて国
 07 05 06 あまたにもあまたに讚あまたにも陽す
 も国
 07 05 06 なかれすやなかされすや陽なかれす国麦
 阿
 07 05 06 なりにけんまたかきおとしてけるにやあら
 んナシ国
 07 05 06 なりにけん也にけんかし麦阿
 07 05 06 あらんナシ麦阿
 07 05 07 楽所かくそ讚保かく国
 07 05 07 おほつかなければおほつかなかりければ
 讚ことのおほつかなしとて国
 07 05 07 御前にをまへに陽保をまへに陽御ま
 へに国
 07 05 07 めすめして讚陽保めてわこんは国
 07 05 07 兵部卿の宮兵部卿宮国麦阿
 07 05 07 ひはひわは国
 07 05 07 内のおと内おとんは讚
 07 05 08 和琴ナシ国
 07 05 08 さつこの御こと生の御こと讚おつこのことは
 保しやつは国
 07 05 08 御まへにをまへに陽保御前に麦阿
 07 05 08 まいりてまいらせたれば国
 07 05 08 琴はきはは讚保麦阿きむ陽きむを国
 07 05 08 れいのナシ国
 07 05 08 おほきおとんに大きおとんを讚保おほきを
 と陽麦阿ひたりのおとんに国おほきおと

の麦

07 05 08 給はりたまふ ナシ 讚陽保国 給はり阿
 07 05 09 せめきこえ給 ナシ 麦阿
 07 05 09 いみしき ナシ 国
 07 05 09 上手の上す 讚陽保 しゃうすに 国
 07 05 09 御てつかひとものつくし 給へるねはたとへん
 かなしさうかの殿上人あまたさぶらぶあな
 たつとあそひてつきにさくら人月おほるにさ
 しいてをかしきほとになかしまのはたりに
 こゝかしこかゝり火とももしておほみあそ
 ひはやみぬものゝねとんのくしたるは思ひ
 やるへし 国
 07 05 09 とものとの「なしノ上カラともヲ書ク」
 保
 07 05 10 ねは は 讚保 ナシ 陽 は た 麦阿
 07 05 10 さうか 生か 讚 し やうか 保
 07 05 10 さぶらぶ 候給 讚陽保 さぶらひ 麦阿
 07 05 10 あなたうとあなたことゝ 讚
 07 05 11 さしいてゝさしいりて 陽麦阿 さし入 出イ
 て 阿
 07 05 11 ほとに ほとなるに 麦阿
 07 05 11 はたりに わたりに 讚陽保 わたり 麦阿
 07 05 12 かゝり火とも かゝり火 讚陽保 麦阿
 07 05 12 おほみあそひは 御あそひ 讚陽保
 07 05 12 やみぬとりやめぬほとに 讚 やめさせ給はぬ
 ほとに 陽保 やめさせ やめはさせ 陽
 07 05 12 夜よ 陽 夜は 麦阿
 07 05 12 ふけぬれとかゝる ふけぬれとかかる 陽 ぶ
 けぬれは 国

07 05 12 つめてに 御ついでにと 讚 ついでにと 陽 つ

いてにと 保 ナシ 国

07 05 13 おほきさいの宮 大后の宮の 国 大后宮 麦

阿

07 05 13 かたを 御方へ 国

07 05 13 よきてとぶらひきこえさせ給はさらんもなさ

けなければかへさに ナシ 国

07 05 14 かへさに かへ殿に 陽保

07 05 14 わたらせ わたり 讚

07 05 14 おとももろとも さぶらひ 給きさき ナシ 国

07 05 14 おととをとゝも 讚陽保

07 05 14 もろとも さぶらひ 給きさき まちよろこひ 給

て ナシ 讚

07 05 14 もろとも 御とも 陽保

07 06 01 御たいめん 御たいめ 麦阿

07 06 01 いたう いたく 讚陽 ナシ 国

07 06 01 さたすき 給にける さたすき 給える 国 さたす

きにける 阿

07 06 01 御けはひにも 御有さまに 国

07 06 01 こ宮を こ宮 讚保 まつ宮の 御事 国

07 06 02 給て 給 国

07 06 02 かななく あはれかく 讚 かなから 国 麦阿

07 06 02 おはします おはしける 保 おはする 国

07 06 02 おはしける ありける 讚陽 国 おはしましける

麦阿

07 06 02 ものをとをいと 国

07 06 02 くちおしう 口 惜陽 くちをしく 保

07 06 02 おもほすをほす 讚陽 麦阿 おほしいつ

国

07 06 03 かくかう 陽 国 ナシ 麦阿

07 06 03 わすられ わすれ 讚陽 国 麦阿

07 06 03 侍にける 侍ける 讚 侍りぬる 国

07 06 04 わたり かくわたらせ 讚 かくわたり 陽

保

07 06 04 おはしまいたるにをはしましたるに 讚陽 麦

阿をはしたるに 保 おはしましたる 国

07 06 04 なん ナシ 麦阿

07 06 04 さらに ナシ 国 麦阿

07 06 04 こと こと 保

07 06 04 思ひいてられ侍と 思ひ給いてられけると

讚 思ひ給へいてられけると 陽保 思ひ給へ

おもたまへ 保 さらに 思ひ給いつるに 国 思

出侍と 麦阿

07 06 05 御かけとも 御かけとんに 国

07 06 05 侍のち たてまつりて 国

07 06 05 はる むかし 麦阿

07 06 05 思ひたまへわかれぬを おもひ給へわかれぬ

に 讚 おもたまへわかれぬを 保 思ひ給へ

られぬに 国 思給へわかれぬを 麦阿

07 06 06 なくさめ なくさまれ 国

07 06 06 侍ぬる 侍ぬれは 讚陽 保

07 06 06 又ノ人ノ 保

07 06 06 きこえきこへさせ 国

07 06 06 さるへきさまにきこえて ナシ 国

07 06 06 さまにさせまに 陽

07 06 07 ことさらたことさびに陽
 07 06 07 なんととと讚麦阿なんとて国
 07 06 07 きこえ給 ナシ讚陽保国
 07 06 07 のとやかならてのとかならて国
 07 06 07 かへらせ給 かへり給讚 たち給ぬる国
 07 06 08 きさききさい讚 后麦阿
 07 06 08 むね 御むね国
 07 06 08 うちさはぎてうちつふれて讚さはきて麦
 阿
 07 06 08 いかにかゝ国
 07 06 08 おほしいつらむ おほしいつらん麦阿
 07 06 08 世をかく世を讚陽保国かくかう国
 07 06 08 たもち給へき御すくせはけたれぬものにこ
 そたまつ月日をはえけたためわざなりけり
 国
 07 06 09 いにしへを いにしへも讚
 07 06 09 くひうく国
 07 06 09 内侍のかんの君も 内侍のかみも讚 内侍のか
 みのきみ国
 07 06 09 のとやかに のとかに国
 07 06 10 事ごとくも讚 ことごとくも保
 07 06 10 さるへき なをさるへき讚陽保
 07 06 10 おりをりの讚をりり陽おりノ国おり
 ノの麦阿
 07 06 10 風のつてにも 風のつてにても讚 風のつてに
 し麦阿
 07 06 11 きこえ ナシ国麦阿
 07 06 11 ことたえさるへし 事たえさるへし讚 へ
 し国 事はたらさりけり 麦事はたえさりけり

阿
 07 06 11 そうせさせそうし国
 07 06 11 給 給へき麦阿
 07 06 12 時々時ノ讚保をり国 時ノこそ麦阿
 07 06 12 御たうはりの 御たうはかりの本卜傍記讚御
 たま(ま)はりの陽 御たう(ま)はりの保 ナシ
 国
 07 06 12 かうふり かふり国
 07 06 12 なにくれのの国 なにくれの麦
 07 06 12 事にふれつゝナシ国
 07 06 12 ときをり陽 おももハリノ誤写国
 07 06 13 いのち いのちの国
 07 06 13 ことゝ事ゝおほしいてゝ国 こと麦阿
 07 06 13 とりかへさまほしうとりかへさまほしく保
 麦阿
 07 06 13 よろつよろつを陽 ナシ国
 07 06 13 おほしむつかりける おほしむつかりけるを
 讚 おほされける国
 07 06 14 おひもておはするををいりておはするりハも
 ノ誤写国 ナシ麦阿
 07 06 14 まゝにまゝに ノ上カラまヲ書ク保
 07 06 14 さかなさもかさ讚 さかなくて国 さかなさ
 麦阿
 07 06 14 まさりて さまなりて陽 ナシ国
 07 06 14 くらへくへしうへくへしう讚 くらへく
 へくへしう陽 くらへくへく保 よろつく
 るしく国
 07 07 01 たとへかたくそ たえかたうそ讚陽保麦阿 た

へかたくそ陽保麦阿 ナシ国
 07 07 01 おもひきこえ給ける おほしける国 思聞えけ
 る麦
 07 07 01 かくて ナシ国
 07 07 01 大かくの君 大かくの君そ阿
 07 07 01 うつくしうかしこく国
 07 07 02 進士し位 位八從二似ル陽しノ保しう
 国
 07 07 02 つもれるをさなひ讚陽おとなひ保国
 07 07 02 ものともをもものとも讚麦阿 ものを保人
 国
 07 07 02 えらはせ おくらせ麦阿
 07 07 02 給しかと 給しかとん国
 07 07 03 きうたいの人 きんたいの人 讚きすつたい
 の人陽 ナシ国
 07 07 03 三人きふたいの二三の国
 07 07 03 つかさめしにつかさめしには保
 07 07 03 かうふり かうふり陽
 07 07 03 侍従ししうんしノ上カラしうヲ書ク保 四
 位国
 07 07 04 御こと 御事は陽
 07 07 04 世おり国
 07 07 04 なけれと なけれは讚陽 なくおほしわたれは
 国
 07 07 04 まもりまほり讚 さま(ま)ふり陽
 07 07 04 給もつらければ 給を国
 07 07 05 わりなくて わりなうて陽
 07 07 05 などもたいめんし などもたいめし陽 麦阿 何

とんきこ入国
 07 07 05 御せうそこはかり 御せうそくはかり 讚保 御
 文はかりそ国
 07 07 05 さりぬへきさるへき 讚国
 07 07 06 たよりにきこえ 給てかたみに おりノカよ
 ひて国
 07 07 06 大殿 大臣殿ノ 讚 大いと の陽
 07 07 06 しつかなるし のふる 国
 07 07 06 御すまひを 御すまひに 讚 御すみなと 国
 07 07 07 おなし くは を なしうは 讚 おなし く
 国
 07 07 07 ひろく ひろつ 陽
 07 07 07 こゝかじこにて こゝかじこに 陽 しなしてこ
 々かじこの 国
 07 07 07 おほつかなき ナシ 讚
 07 07 07 山さと人 山さと の 人 国
 07 07 07 なとを も なと も 讚 国 など 国
 07 07 07 つとへ つたへ 讚
 07 07 08 すませんの すませたてまつらんの 讚 陽 保 保 保 保
 ませんと 国
 07 07 08 御心にて おほして 国
 07 07 08 六条京極の 六条京こく 讚 陽 保 麦 阿 一 二 奈 ぎ や
 つく 国
 07 07 08 中宮の 御ふるき宮の ほとりを よまちを こめ
 てよきまさを こめてふるき宮の ほとりに
 国
 07 07 08 御ふるき宮の ほとり 古宮の わたり 麦 阿
 07 07 09 こめてしめて 讚 陽 保 麦 阿

07 07 09 つくらせ 給 つくらせ 給 入り 国
 07 07 09 式部 卿 官 式部 卿 の 宮 讚 陽 保 国
 07 07 09 あけんとしそ ナシ 讚 陽 保 あけむとし 国 麦
 阿
 07 07 09 なりたり 陽
 07 07 09 給ける 給けるを 讚 陽 保 麦 阿 給うけるを
 陽 給える 国
 07 07 09 たいのうへ きたのかた 国
 07 07 10 おほし おもほし 麦 阿
 07 07 10 まつくるに ままづへるに 陽 まぶく 国
 07 07 10 けに ナシ 国
 07 07 10 すくしかたき すくしかたき 讚
 07 07 10 こゝもなりと ことなりと 讚 陽 保 ありの 事
 々 国 事 と 麦 阿
 07 07 10 おほして おほえて 讚 おほく 国
 07 07 10 さやつの 御いそきも おなし くめつらし からん
 御いへるにて ナシ 国
 07 07 11 御いそき 御きそく 讚
 07 07 11 おなし く おなしうは 讚 陽 保 麦 阿 を なし くは
 陽 保 麦 阿
 07 07 11 御いへる 御家いゑ(ぬ 陽 御いゑ 保
 07 07 11 いそかせ 給 おほしを きていそかせ 給 讚 保
 07 07 11 年かへりて としかへりては 讚 陽 保 麦 阿 とし
 かへれば 国
 07 07 12 まして まいて 麦 阿
 07 07 12 御いそきのこと 御いそきを 国
 07 07 12 御としみのこと 御なしみの 事 讚 御としみの
 こと 々 陽 ナシ 国 麦 阿

07 07 12 かく人 かく人 陽
 07 07 12 まひ人 まひ 阿
 07 07 12 さためなとを 御さためなとを も 讚 事 まで
 国
 07 07 12 御心にいれていとなみ 給 又 なき 御いとなみ
 に 国
 07 07 13 経 仏 法 事 の 日 の 御 仏 法 の し の ひ の 讚 き や つ
 ほ と け ほ つ も つ 国
 07 07 13 さつそく 御さつそく 讚 麦 阿 御さつそく と も
 陽 御さつそく の 事 まで おほかれは 国
 07 07 13 ろくなど を なんうへはいそかせ 給ける ナシ
 国
 07 07 13 ろく 六とも 讚 保 麦 阿 ナシ 陽
 07 07 13 など を なんうへはいそかせ 給ける など を な
 んうへはいそかせ 給ける 陽
 07 07 13 なん ナシ 麦 阿
 07 07 13 給ける 給けり 麦 阿
 07 07 14 ひんかしの 院に ひんかしの 院にも 讚 陽 保 国
 麦 阿
 07 07 14 し 給 こと とも あり いそかせ 給 国
 07 07 14 御なからひ 御な からひ 陽
 07 07 14 まして ナシ 国
 07 08 01 かはして かはし 給て 讚 陽 保 かはし 給えり
 国
 07 08 01 なん ナシ 国
 07 08 01 すくし 給ける すこしたまひける 保 おなし
 くは あたらしき 御家にてとおほし いそかせ 給
 国
 07 08 01 世中ひきゆすれる 世の中のひきゆする

保よの事ゝいとなみきこゆる国
 07 08 01 なるを なる讚也国
 07 08 01 式部卿宮にも 式部卿の宮も讚 式部卿の宮に
 也陽保 式部卿宮国 式部卿にも麦
 07 08 02 きこしめして きかせ給て国
 07 08 02 世中にはよの中に讚陽保国麦阿
 07 08 02 わたりをは あたりをは 国 わたりを 麦
 阿
 07 08 03 なさげなく ナシ国
 07 08 03 ふれて ふれ讚陽保
 07 08 03 はしたなめ はしたため讚陽 はしたなめおほし
 たりつれば 国
 07 08 03 宮人をも 宮も讚 宮の人も 国
 07 08 03 御よういなく ナシ国
 07 08 03 うればしき これはしき麦
 07 08 03 のみおほかるに おほかりつるに 国
 07 08 04 つらし いにしへつらし 讚陽保 はらたゝし
 国
 07 08 04 思をき給 おほしおきつる 国
 07 08 04 事一とゝもに 讚
 07 08 04 こそは こそ麦阿
 07 08 04 ありけめ おほかりけめ 国 あるらめ 麦
 阿
 07 08 04 いとをしくも いとをしつも 讚
 07 08 04 からくも ナシ 讚 からつも 麦阿
 07 08 04 おほしけるを おほしわたりけるを 讚陽保 お
 ほしわたるに 国 おもほえけるを 麦阿
 07 08 05 かく ナシ 讚 国
 07 08 05 かつらひ かつらひ 讚 かけ 国

07 08 05 給へる 給へりし 国 給つる 麦
 07 08 05 人々 事の 国 人 麦阿
 07 08 05 おほかるなかに おほかる中に 陽 おほかる中
 にも 保 ナシ 国 おほく 麦阿
 07 08 05 とりわきたる 御思ひすくれて 世に心にくゝわ
 き 給える 御思ひのすくれたることを 世中に心
 にくゝ 国 ナシ 麦阿
 07 08 06 世に ナシ 讚 世中 陽 よの中に 保
 07 08 06 ことも の 讚 陽 保
 07 08 06 思ひ かつ つかれ 給へる おほえ 給へる を
 国
 07 08 06 御すくせをそ 御すくせを 讚 陽 保 麦阿 ナシ
 国
 07 08 06 いへまては いゑは 讚 家 いる まで は 陽 い
 くまてこそ 国
 07 08 07 にほひこねと にほひこぬと 讚
 07 08 07 めいほくに かきりなき めんほくに 讚 保 めん
 ほく めいほく 保 かきりなく 面目に 陽 国 面
 目 めんほく 国
 07 08 07 おほすに 思に 讚 思を 陽 保
 07 08 07 又 ナシ 讚
 07 08 07 かく ナシ 国
 07 08 08 給は 給を 国
 07 08 08 すゑの すへの よの 国
 07 08 08 さかへにも さかへも 保
 07 08 08 へき ナシ 讚
 07 08 08 よろこひ 給を おほしの 給を 讚 陽 保 国 おほ
 し おもほし 保 よろこひの 給を 麦阿
 07 08 09 北のかたは きたの 方 国

07 08 09 おほしたり おほす 国
 07 08 09 女御 女御の 讚 陽 保 国 麦阿
 07 08 09 なにも なとも 讚 も 国
 07 08 09 おとゝの ナシ 国
 07 08 10 やうなる ナシ 讚
 07 08 10 いよゝ ナシ 讚 保
 07 08 10 おもひし み おほしし み 讚 思ひきこへ 国 お
 もひしめ 麦阿
 07 08 11 八月にそ 八月には 讚
 07 08 11 六条院 つくりはてゝ 六条の院 つくりはて
 陽 保 あのとへ 国 六条院 つくりいてゝ
 麦
 07 08 11 給 給へき 国
 07 08 11 まちは かつを 国
 07 08 11 御ふる 宮ふる 宮 陽 御ふる き 宮 保 ふる き 御
 宮 麦 阿
 07 08 11 御ふる 宮なれば やかて おはします へした つみ
 は 殿のおはす へき まちなり いて させ 給へき
 をりの 御方と の おはします へき かつは たつ
 み 国
 07 08 12 おはす をは します 讚 陽 保 麦阿
 07 08 12 ひんかしの 院に すみ 給たいの 御 かつは ひんか
 しの 院の 御 方 国
 07 08 13 いぬの まちは いぬの まちは は ノ 上 カラ
 の 書 ク 讚 いぬの は 国
 07 08 13 おきて させ 給へり を きて させ 給て 讚 陽 保 た
 り 国
 07 08 14 もと ありける ナシ 国
 07 08 14 池山を もい け山も 保 池山 の 国

07 08 14 ひんなきひなき讚陽 みくるしき国
 07 08 14 所なるをは 所を讚とこるは国
 07 08 14 くつしかへてくつしこめて讚くつしうめて
 陽保 うめつくるはせ給て国
 07 09 01 をきてを(毛)き(て)を保おもて国をきて
 麦阿
 07 09 01 さまノに御かたノのさまノの国
 07 09 01 心はへ 御はへ陽 心むけ国
 07 09 02 みなみのひんかしは 南には国
 07 09 02 春の花の木 はる花の木陽 春の花の保 春の
 花の木を国
 07 09 02 うへうつしう陽保 うへわたし国
 07 09 02 おもしろくゆほひかにをもしろく 讚八本ト
 傍記 讚陽 ぬにほひやかにおももしろく保 ゆ
 をいやかにすくれてももしろく国
 07 09 03 すくれて ナシ国
 07 09 03 おまへ 御前讚麦阿をま(ま)へ陽 御まへ国
 07 09 03 せんさい せんさいの讚 せんさい陽 せんさい
 に保 せんさいには国
 07 09 03 五えつ(つ)は(つ)ひ(つ)ふ(つ)け(つ)や(つ)ま(つ)ぎ(つ)は(つ)つ
 しなとや(つ)の(つ)つ(つ)し(つ)え(つ)つ(つ)た(つ)ちは(つ)な(つ)との
 国
 07 09 03 五えつ(つ)五えつ(つ)す(つ)くれ(つ)て(つ)讚
 07 09 03 さくら ナシ 讚陽保
 07 09 04 もてあそびを(毛)もてあそび(毛)ものを保物を
 国
 07 09 04 わざとは わざと国 麦阿
 07 09 04 うへて(毛)つく(毛)つ(毛)つ(毛)へ(毛)て(毛)国(毛)う(毛)へ(毛)麦阿

07 09 04 せんさいをは(毛)せ(毛)さ(毛)く(毛)さ(毛)ぎ(毛)は(毛)陽(毛)物(毛)は(毛)国(毛)せ
 んさいは 麦阿
 07 09 05 御まちはは 御まえは 讚 御まちは 陽保 麦
 阿 御方には 国
 07 09 05 もみちのいろこかるへきいろこきもみち
 国
 07 09 05 うへ木ともを(毛)う(毛)ゑ(毛)木(毛)とも(毛)保(毛)き(毛)と(毛)ん(毛)国
 07 09 06 そへて(毛)そ(毛)へ(毛)讚(毛)陽(毛)保(毛)麦(毛)阿(毛)う(毛)へ(毛)国
 07 09 06 いつみの水(毛)いつ(毛)み(毛)讚(毛)いつ(毛)みの(毛)すり(毛)陽(毛)いつ
 みのしり保 泉したり 国(毛)いつ(毛)みの(毛)水(毛)しり(毛)麦
 阿
 07 09 06 とをく(毛)ゆ(毛)た(毛)かに(毛)讚(毛)陽(毛)保(毛)国(毛)麦(毛)阿
 07 09 06 すまじやり水の(毛)と(毛)す(毛)ま(毛)じ(毛)やり(毛)て(毛)水(毛)う(毛)ゑ(毛)こ
 ノ上カラう(毛)書(毛)ク(毛)讚(毛)す(毛)ま(毛)じ(毛)やり(毛)て(毛)水(毛)の(毛)こ(毛)ゑ
 陽保 なかしやり水の(毛)こ(毛)ゑ(毛)国
 07 09 06 まさる(毛)へ(毛)き(毛)まさ(毛)る(毛)へ(毛)く(毛)国
 07 09 06 いは(毛)ほ(毛)いは(毛)とも(毛)を(毛)讚(毛)陽(毛)保(毛)い(毛)わ(毛)と(毛)ん(毛)国(毛)い(毛)し
 麦阿
 07 09 06 たて(毛)く(毛)は(毛)へ(毛)た(毛)て(毛)なら(毛)へ(毛)讚(毛)た(毛)か(毛)く(毛)た(毛)て(毛)そ(毛)え
 国(毛)お(毛)ほ(毛)く(毛)た(毛)て(毛)く(毛)は(毛)へ(毛)麦(毛)阿
 07 09 07 はる(毛)かに(毛)は(毛)る(毛)かに(毛)思(毛)は(毛)せて(毛)讚(毛)は(毛)る(毛)ノ(毛)と
 国
 07 09 07 つくり(毛)たる(毛)つ(毛)くれ(毛)る(毛)讚(毛)陽(毛)保(毛)国(毛)つ(毛)くり(毛)たり(毛)麦
 阿
 07 09 07 その(毛)ころ(毛)に(毛)その(毛)心(毛)に(毛)陽(毛)国
 07 09 07 さかり(毛)に(毛)ナシ(毛)国
 07 09 07 さき(毛)み(毛)た(毛)れ(毛)たり(毛)に(毛)たり(毛)讚(毛)み(毛)た(毛)れ(毛)たり(毛)陽
 保(毛)おも(毛)し(毛)ろ(毛)し(毛)国

07 09 08 さかの ナシ国
 07 09 08 わたりの わたり陽
 07 09 08 野山(毛)ノ(毛)や(毛)ま(毛)も(毛)讚(毛)陽(毛)保(毛)さ(毛)ま(毛)を(毛)国
 07 09 08 むとくに(毛)け(毛)お(毛)され(毛)た(毛)る(毛)とも(毛)に(毛)つ(毛)つ(毛)され(毛)た(毛)る
 讚保(毛)とも(毛)に(毛)つ(毛)つ(毛)まれ(毛)た(毛)る(毛)陽(毛)う(毛)つ(毛)され(毛)たり
 国
 07 09 08 秋なり ナシ国
 07 09 08 きたのひんかし(毛)きの(毛)か(毛)た(毛)の(毛)ひん(毛)かし(毛)讚(毛)きた
 ひんかし 国
 07 09 09 す(毛)し(毛)け(毛)なる(毛)いつ(毛)み(毛)あり(毛)て(毛)す(毛)こ(毛)し(毛)か(毛)け(毛)なる
 いつみに(毛)て(毛)国
 07 09 09 よれり(毛)よ(毛)れる(毛)国
 07 09 09 ま(毛)へ(毛)ま(毛)ま(毛)つ(毛)陽(毛)を(毛)ま(毛)へ(毛)保(毛)松(毛)の(毛)き(毛)国
 07 09 09 せんさい(毛)せ(毛)さい(毛)陽(毛)せん(毛)さい(毛)に(毛)国
 07 09 09 くれ(毛)た(毛)け(毛)くれ(毛)た(毛)け(毛)う(毛)ゑ(毛)讚(毛)陽(毛)保(毛)くれ(毛)た(毛)け(毛)の(毛)麦
 阿
 07 09 10 した(毛)風(毛)す(毛)し(毛)かる(毛)へ(毛)く(毛)た(毛)か(毛)き(毛)も(毛)りの(毛)や(毛)う(毛)な
 る(毛)木(毛)とも(毛)こ(毛)ぶ(毛)か(毛)く(毛)おも(毛)し(毛)ろ(毛)く(毛)つ(毛)た(毛)の(毛)木(毛)の(毛)森
 の(毛)や(毛)う(毛)なる(毛)こ(毛)え(毛)つ(毛)おも(毛)し(毛)ろ(毛)き(毛)国
 07 09 10 す(毛)し(毛)かる(毛)へ(毛)く(毛)す(毛)し(毛)かる(毛)へ(毛)き(毛)讚(毛)陽(毛)麦(毛)阿(毛)す
 へ(毛)かり(毛)ぬ(毛)へ(毛)く(毛)保
 07 09 10 木(毛)とも(毛)ナシ(毛)阿
 07 09 10 こ(毛)ぶ(毛)か(毛)く(毛)ナシ(毛)讚
 07 09 10 や(毛)ま(毛)さ(毛)と(毛)め(毛)きて(毛)山(毛)さ(毛)と(毛)め(毛)きて(毛)そ(毛)み(毛)ゆる(毛)讚(毛)陽
 保(毛)国
 07 09 11 う(毛)の(毛)花(毛)の(毛)つ(毛)のは(毛)な(毛)讚(毛)う(毛)のは(毛)な(毛)さ(毛)る(毛)へ(毛)き
 陽(毛)卯(毛)花(毛)さ(毛)く(毛)へ(毛)き(毛)保
 07 09 11 こ(毛)と(毛)さら(毛)に(毛)こ(毛)と(毛)に(毛)国
 07 09 11 花(毛)た(毛)ちは(毛)な(毛)な(毛)て(毛)し(毛)こ(毛)た(毛)ち(毛)花(毛)な(毛)つ(毛)か(毛)しく

07 09 12 さつひ 正ひん讚国 しゃつひん国
 07 09 12 くに ナシ讚 ほつたん陽 くにたん保麦阿く
 (ほ)たん保とこ夏国
 07 09 12 なとやうの なといふやうなる讚
 07 09 12 花はなの讚陽 草国
 07 09 12 くさノナシ国
 07 09 12 うへてとりたてつゝゑたり讚 とりたてつゝは
 つゑたり陽保とりわきつゝへて国
 07 09 12 木草 草木は讚 木くさは陽保 花は国
 07 09 12 そのなかにつちませむらノ見え国
 07 09 12 そのその讚
 07 09 12 なかに 中に讚保麦阿
 07 09 13 ひんかしおもてはむかしをもては「本二本
 ノママ」ト傍記「讚 東おもて国
 07 09 13 わけてりけて讚
 07 09 13 むまはのおとゝむまはのをとゝには讚 馬は
 はのおとゝ保
 07 09 13 ゆいてゆひ麦阿
 07 09 13 さ月 五月陽保 五さ(月保 夏国
 07 09 13 御あそひところにてあそひ所にして讚 あそ
 ひ所にし給陽 御あそひところ 保 御すゝみ
 とこ世国 あそひ所にて麦阿
 07 09 14 さつふ 菖蒲陽 しゃつふ国 さつふを麦
 阿
 07 09 14 しらせ ナシ国
 07 09 14 みまやして御むまやして讚 御ま屋して
 国 みまやまいりて麦 みまやまいて阿
 07 09 14 世にこまともにに讚陽保

07 10 01 なきなたかき国
 07 10 01 上めともを上すともを讚 上馬 御むまとも
 を陽 御馬とん国 上めを麦阿
 07 10 01 とゝのへとゝのへて保阿 ナシ国
 07 10 01 たてさせたてならへさせ国
 07 10 01 にしのまちはそのにしのまちはに讚 そのに
 しのまちは陽保 その西にあたりて国
 07 10 01 きたおもてつきわけて 中はをわけて国
 07 10 01 みくらまちなり みくらまちのやつなり讚陽
 保 みくらまち 御くらまち陽 ひとつはみく
 らまちなりけり国
 07 10 02 へたてのかきにへたてのかきからたけつゑ
 て讚陽保 へたて中かきから竹つゑて国 へ
 たてのかきから竹阿
 07 10 02 松の木しけくゆきをもてあそはんたより
 にあはつゝのゝきしのゆきをくらへてあさ霧
 に国
 07 10 02 松の木まつ木讚 松のかき保
 07 10 02 しけくしけき讚陽保
 07 10 02 よせたりしたり讚
 07 10 03 冬の冬の保 ぶの国
 07 10 03 はしめの はしめより讚陽保国 はしめ麦
 阿
 07 10 03 あさしもあさしものへに讚 あさしものえに
 陽保 あさしもえんに国
 07 10 03 菊 むくら国
 07 10 03 われはかほなると思ひかほなり国 わのれは
 かほなる麦
 07 10 03 はゝそはらゝはゝそはらを陽 はゝそも国

07 10 03 おさノなもしらぬさらぬ国
 07 10 04 み山木ともの みやま木とんの讚 みやまも
 国 山木ともの阿
 07 10 04 こぶかきなとをナシ国
 07 10 04 うつしうへたりうつしうゑなと心こにし
 て讚 うつしうへ心にして陽 うつしうゑな
 と心ノにして保 うつしくしうゑなとさまこ
 となり国
 07 10 04 ひかん ひかふ本ト傍記讚 ひか保
 07 10 04 ころほひ ころをひは陽 ころ国
 07 10 05 わたり給わたり給を保
 07 10 05 ひとたひにと ひとたひ本ト傍記讚
 07 10 05 さためさせ さため讚陽保国 給を保
 07 10 05 さはかききものさつかしきつハはノ誤写「
 讚 ものさはかきき陽保国
 07 10 05 やうなりとて中宮はすこしのへさせ給れいの
 おいらかにけしきはまぬ やうなりとて中宮
 はすこしのへさせ給つれいのおいらかにけし
 きはまぬ陽
 07 10 05 なりなれば麦阿
 07 10 06 のへさせ給のへさせたまひつ讚陽保のへ給
 えり国 のへさせ給を麦阿
 07 10 06 おいらかにおほとかに国
 07 10 06 けしきはまぬけしきはゝぬ讚 ものし給
 国
 07 10 06 花ちるさとそその夜そひてうつろひ給たち
 花の御方にわたり給国
 07 10 06 夜よ陽保

07 10 07このころにこの下に陽心そ国
07 10 07心ことなり心ことになり讚み所こと也麦

阿
07 10 07御くるま十五としわかよくきかきり国

07 10 07御前衣本ト傍記讚御せ山陽八かノ上カ

ラセヲ書ク陽保こせん保ナシ国

07 10 08かちにてナシ国にて阿

07 10 08六ぬ殿上人六位のくら人讚

07 10 08なとはさるへきかきりナシ国

07 10 08なとはなと阿

07 10 08えらせえしらせらノ上カラヲ書ク陽え

らはせ国麦阿

07 10 08ほとにはほとにも国

07 10 09世の世中の讚

07 10 09そしりもやとはふきそしりもやといふき

讚そしりはをくふき国そしりもやとはふい

麦阿

07 10 09給へれば給へは讚陽保給へと国

07 10 09なにこともおとろしういかめしきことは

なしナシ国

07 10 09おとろしうをころかしう讚陽保おとろ

かしく保

07 10 10ことはナシ讚

07 10 10ひとかたの御けしきもおさノおとし給

はてひとりの御きしきもことにおとろす

国

07 10 10御けしきおほむけしき陽御きしき保

07 10 10しうの君くはさの君麦阿

07 10 11そなたはもてかしつき給へはけにかうもある

へきことなりけりとみえたり女房のさうしま
ちともあてノのこまけそひやうぶの会さ
うしまちとんあたりノうちのためへるなど

ん国

07 10 11そなたこなた讚陽保

07 10 11もてかしつきもてなし麦阿

07 10 11給へはきこえ給へは讚きこえ給は保

07 10 11かうもかくも讚保

07 10 11けりナシ麦阿

07 10 12女房女はら阿

07 10 12こまけそこまけう讚こまかさ陽こまけ

(か)さそかアルカ保こまかなる事ともそ

麦阿

07 10 12めてたかりける五六日めてたかりけり五六

日はかり国

07 10 13すきてすこして讚保すくしてそ陽ありて

国

07 10 13中宮中宮は讚

07 10 13まかてさせ給まかてて歎させ給讚まかん

て給へり国

07 10 13御けしき御きしき讚陽保国麦御けしき阿

07 10 13はたは讚はまた国

07 10 13さはいへとさいえと讚陽保さはいへと心に

く麦阿

07 10 13いとナシ陽保国

07 10 14たまへりけるをは給へりけるは国

07 10 14御ありさまの人の御ありさまの讚陽保御あ

りさま国御有様の麦

07 10 14おもりに思おもりに陽ナシ国をも
りてかに麦

07 11 01おはしませはおはしますと国

07 11 01思はれおほえ国

07 11 01給へる給へり讚

07 11 01すくれてなんすくれ国

07 11 01おはしましける給へり国おはしける麦

阿

07 11 02まぢノのまぢノ讚御方の国

07 11 02なかのへたてには中のへたてには陽保なか

へたて国御へたてには麦阿

07 11 02へいともらうなをついかいなんと国

07 11 02とかくナシ国

07 11 02ゆきかよはしてゆきかはして讚ゆきかふこ

ろはへ国

07 11 03あはひにし給へりあはひ也国

07 11 03なか月九月国麦阿

07 11 03むらノ色つきていろノ色つき国

07 11 04宮のおまへ宮の御前讚宮の御まへ陽宮の

御まへも国秋のおまへ麦阿

07 11 04えもいはずいひしらす国

07 11 04おもしろしおもしろう麦阿

07 11 04タくれにゆふくれ上ノ上カラクヲ書ク

讚

07 11 04御はこのふたはこのかた讚

07 11 04いろいろの色ノ麦阿

07 11 05花もみちをはなもみち保もみちを国

07 11 05こきませてこきいれて讚

07 11 05こなたこの御方国

07 11 05 たてまつらせ たてまつり 讚陽保国
 07 11 05 おほきやかなる おほやかなる 讚
 07 11 05 はらはわらは 讚陽保国 麦阿
 07 11 06 こぎ あかき 国
 07 11 06 あこめ あこめに 陽国 麦阿 あつ(こ)めに
 陽
 07 11 06 しおんのしをいゝるの国 麦阿
 07 11 06 おりものをりものを 讚 ナシ 国
 07 11 06 あかくちはあかくろは 讚
 07 11 06 うすものゝ ナシ 国
 07 11 06 かさみ かさみ 本下傍記 讚
 07 11 06 いと ナシ 国
 07 11 07 いたういたく 讚 保
 07 11 07 なれてなれきて 国
 07 11 07 らうわたこののうちはしきわたこの 国 らう
 わたこの 麦阿
 07 11 07 そりはしをわたりてそりはしなとわたり
 国
 07 11 07 まいるまいり 讚 まいるほといと 国
 07 11 07 きしき 御きしき 讚 陽 保
 07 11 08 わらはのをかしきをおかしき わらはのさま
 を 国
 07 11 08 なんぞ 讚 国
 07 11 08 おほしすてさりける おほしさりける 麦
 07 11 08 さる所にさる所に 讚 とこに 国
 07 11 08 さふらひなれたれはもてなしありさま 候な
 れたれは 讚
 07 11 09 ありさま 有様 麦

07 11 09 ほかのにはにす ほかのにもにす 讚 ナシ
 国 ほかにはにす 麦 ほかにはにす 阿
 07 11 09 このましうこのもしう 保国 このもしく
 国
 07 11 09 をかし心ことなり 国
 07 11 09 御せうそこには 御せうそくには 讚 保 ナシ
 陽
 07 11 10 春まつそのは はるはま(つ)そのは 陽 春まつ
 やまは 国
 07 11 10 わかやとのわかえたの 国
 07 11 10 つてにたにみよつてにたにみよ 陽
 07 11 10 御つかひ ナシ 国
 07 11 11 さまともさまとん 讚 国
 07 11 11 をかしをかしき 陽 いと おかし 国
 07 11 11 御返は ナシ 国 御返 麦阿
 07 11 11 この御はここのはこ 讚 御はこ 麦阿
 07 11 11 こけしきいはほなとの心はへしてこけしけ
 きいはたて 国
 07 11 11 いはほいは 讚 陽 保
 07 11 12 えたに(は)え(た)に 陽
 07 11 13 紅葉はかるしもみちはかるし 讚 保 もみちは
 か(か)ろし 陽 もみちはうゑし 国
 07 11 13 春の色をはるのなを 讚
 07 11 13 このいはねのまつもこれを 国
 07 11 14 こまかにこまやかに 讚 こと 陽 よく
 国
 07 11 14 みれはみなは 陽
 07 11 14 えならぬつくりことゝもなりけりえならぬ
 つくり事(事)ともなりけり 陽 つくり事なり

07 11 14 とりあへすかくとりあえ 讚 保 よくとり
 阿
 07 11 14 とりあへて 国 かくとりあへす 麦
 阿
 07 12 01 給つる 給へる 讚 陽 保 麦 阿 給へるかなと
 国
 07 12 01 ゆへへしざゆへへしき 陽 国 ゆへへし
 さ 保
 07 12 01 なとをなと 讚 麦 阿 ことろさとさを 国
 07 12 01 おかしくをかしう 讚 陽 麦 阿 ナシ 国
 07 12 01 御まへなる 御前なる 讚 麦 阿 をまへなる 保
 07 12 01 おとゝおとゝの 讚
 07 12 02 御せうそこ 御せうそく 讚 保
 07 12 02 ねたけなめり ねたけなり 讚 ねたけなむめり
 かし 国
 07 12 02 春の花さかりにこの御いらへはきこえ 給へは
 るの花のさかりにこの御返はきこへかへし 給へ
 国
 07 12 02 御いらへは 御いらへ 麦
 07 12 03 このころ紅葉をこのころも道を 陽
 07 12 03 いひくたさむは いひくたさむも 讚 陽 保 いひ
 かるめん 国
 07 12 03 たつたひめの たつたひめ 讚 陽 保 国
 07 12 03 おもはんこともあるを心うしと思ひぬ へきを
 讚 保 心うしと思ひぬ へきを 陽 うしと思ひぬ
 んと 国
 07 12 03 さしそきて花のかけにたちかくれてこそつ

よきことはいてこめとナシ国
 07 12 03 さしそきて花のかけにさししりそきては
 なのかたに讚
 07 12 04 たちかくれてこそたちかくしてこそ陽
 07 12 04 いてこめといてこめなと讚陽保
 07 12 04 給毛 給国
 07 12 05 御ありさまのみとこらおほかるにいと御
 あはひと国
 07 12 05 御ありさまの御ありさまのみ ノ上カラみ
 ヲ書ク保 御有様の麦
 07 12 05 御すまひ 御有様麦阿 御ありさま阿
 07 12 06 きこえかよはしきこえかはし讚保国麦阿き

こえ陽
 07 12 06 大ぬの御かたはおほぬの御方の国
 07 12 06 かつかたノのかくかたノの讚かく方ノ
 保ナシ国
 07 12 06 御うつろひ御つくろひ讚御うつろひの日
 麦御よるこひの日阿
 07 12 07 いつとなくいつともなく讚陽保
 07 12 07 おほしてて国
 07 12 07 神無月に神無月になりて国
 07 12 07 わたり給ける御しつらひことのありさまをと
 らすしてナシ讚
 07 12 07 わたり給けるわたり給へりける陽

07 12 08 御しつらひことのありさまをとらすしてし
 つらひありさま人のすかたなとおとるかしか
 して国
 07 12 08 ありさまありさまを阿
 07 12 08 わたしたてまつり給わたしたまふ保わたり
 にけり国
 07 12 08 御ためを御ためと麦阿
 07 12 09 おほせは思へは讚おもほせは保
 07 12 09 さほうもさほうは国
 07 12 09 けちめこよなからすことにけちめこよなか
 らす讚陽保おとし給はす国
 07 12 09 いとものノしくいとものノしく讚国い
 とをしく陽